

磐田市総合計画後期計画策定のための基礎調査

磐田市市民団体意識調査 報告書

平成23年3月

磐田市

磐田市

目次

1 調査の概要	1
(1) 調査の概要	2
(2) 調査結果の見方	2
2 調査結果の概要	3
3 調査結果	5
(1) 団体について	6
(2) 地域（磐田市）の特性について	7
(3) 磐田市の今後の取り組み	11
(4) 協働のまちづくりについて	15
(5) まちづくり全般について（自由記述）	41
4 参考資料	53
アンケート調査	54

1 調査の概要

(1) 調査の概要

調査目的

調査項目

調査方法

回収結果

(2) 調査結果の見方

(1) 調査の概要

調査目的

「磐田市総合計画 後期計画」の策定にあたって、市民団体のまちづくりに対する現状や要望等を把握し、計画づくりに活用することを目的として、以下のとおりアンケートを実施しました。

調査項目

- ・団体のことについて
- ・地域（磐田市）の特性について
- ・磐田市の今後の取組みについて
- ・協働のまちづくりについて
- ・自由意見

調査方法

- ・調査対象：磐田市内の市民団体
- ・実施方法：往復郵送（対象団体に調査票を郵送し、記入後返送してもらい回収）
- ・調査期間：平成 23 年 1 月 12 日（配布）から平成 23 年 1 月 31 日（回答期限）まで

回収結果

- ・有効回収数 173 票（配布数 258 票）
- ・有効回収率 67.1%

(2) 調査結果の見方

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- ・基数となる実数は N として掲載し、各グラフの比率は N を母数とした割合を示しています。
- ・1 人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示しています。この場合、その合計が基数を上回ることがあります。
- ・その他については、別冊にあります。

2 調査結果の概要

- (1) 団体について
- (2) 地域（磐田市）の特性について
- (3) 磐田市の今後の取り組み
- (4) 協働のまちづくりについて
- (5) まちづくり全般について（自由記述）

(1) 団体について

- ・活動している地域としては、「磐田市全域」が17.9%（31件）が最も多く、次いで「豊田地区」「豊岡地区」の12.7%（22件）、「見付地区」の9.8%（17件）、「中泉地区」「西貝・御厨・南御厨・田原地区」の8.7%（15件）となっている。
- ・活動分野としては、「保健・医療・福祉」が24.3%（42件）が最も多く、次いで「その他」の17.3%（30件）、「環境」の16.2%（28件）、「まちづくり」「文化・芸術・スポーツ」の15%（26件）となっている。

(2) 地域（磐田市）の特性について

- ・市全体からみると、地域の強みとしては、「地域の連帯感・協力等」が50.9%（88件）が最も多く、次いで地域活動（コミュニケーション、環境美化、防犯・防災）の49.7%（86件）、「自然環境・地形」30.6%（53件）となっている。
- ・市全体からみると、地域の弱みとしては、「地域活動への参加・協力意識」が49.1%（85件）が最も多く、次いで「少子高齢化、人口減少」の38.7%（67件）、「優秀な人材・リーダーの不在」の38.2%（66件）となっている。

(3) 磐田市の今後の取り組み

- ・市全体からみると、特に重要であると思うものとしては、「高齢者福祉の推進」が38.7%（67件）で最も多く、次いで「子どもの教育の充実」31.2%（54件）、「地域の力を高める」28.3%（49件）となっている。
- ・市全体からみると、特に優先してすべきものとしては、特に重要なことと同様に「高齢者福祉の推進」が27.2%（47件）で最も多く、次いで「子どもの教育の充実」22.5%（39件）、「地域の力を高める」19.7%（34件）となっている。

(4) 協働のまちづくりについて

- ・現在取り組んでいることとしては、総合計画の基本目標により分類すると、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」が81件と最も多く、次いで「環境にやさしいまちづくり」57件、「豊かな心を育み活躍できるまちづくり」48件となっている。
- ・今後取り組みたいこととしては、総合計画の基本目標により分類すると、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」が52件と最も多く、次いで「計画推進のために」37件、「環境にやさしいまちづくり」27件となっている。
- ・市全体からみると、市民活動をする上での問題点としては、「組織を支える優秀な人材が不足している」が48.6%（84件）で最も多く、次いで「市民へのPR不測、活動が浸透していない、理解されていない」45.7%（79件）、「団体を維持していただくだけの活動資金が不足している」40.5%（70件）となっている。
- ・市全体からみると市民・行政の協働のまちづくりへの関わり方としては、「興味がある内容なら参画したい」が33.5%（58件）で最も多く、次いで「積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい」29.5%（51件）、「求められれば参画する」24.9%（43件）となっている。

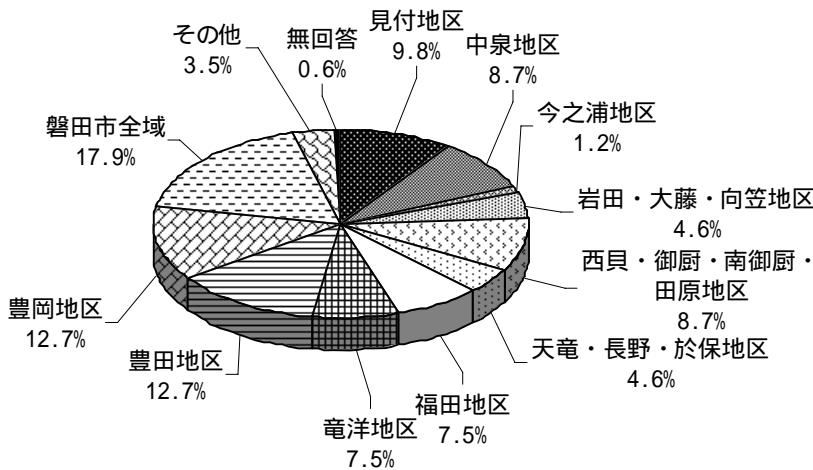
3 調査結果

- (1) 団体について
- (2) 地域（磐田市）の特性について
- (3) 磐田市の今後の取り組み
- (4) 協働のまちづくりについて
- (5) まちづくり全般について（自由記述）

(1) 団体について

問1 主に活動している地域は？

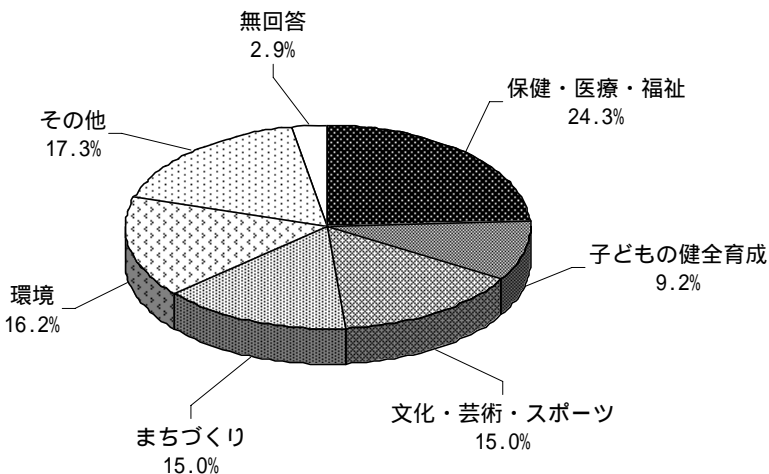
「磐田市全域」が17.9%と最も多く、「豊田地区」「豊岡地区」が12.7%、「見付地区」が9.8%、「中泉地区」「西貝・御厨・南御厨・田原地区」8.7%とつづいている。



地区別	件数	割合
見付	17	9.8%
中泉	15	8.7%
今之浦	2	1.2%
岩田・大藤・向笠	8	4.6%
西貝・御厨・南御厨・田原	15	8.7%
天竜・長野・於保	8	4.6%
福田	13	7.5%
竜洋	13	7.5%
豊田	22	12.7%
豊岡	22	12.7%
磐田市全域	31	17.9%
その他	6	3.5%
無回答	1	0.6%
全体	173	100.0%

問2 主な活動分野は？

活動分野としては、「保健・医療・福祉」が24.3%と最も多く、「その他」が17.3%、「環境」が16.2%とつづいている。



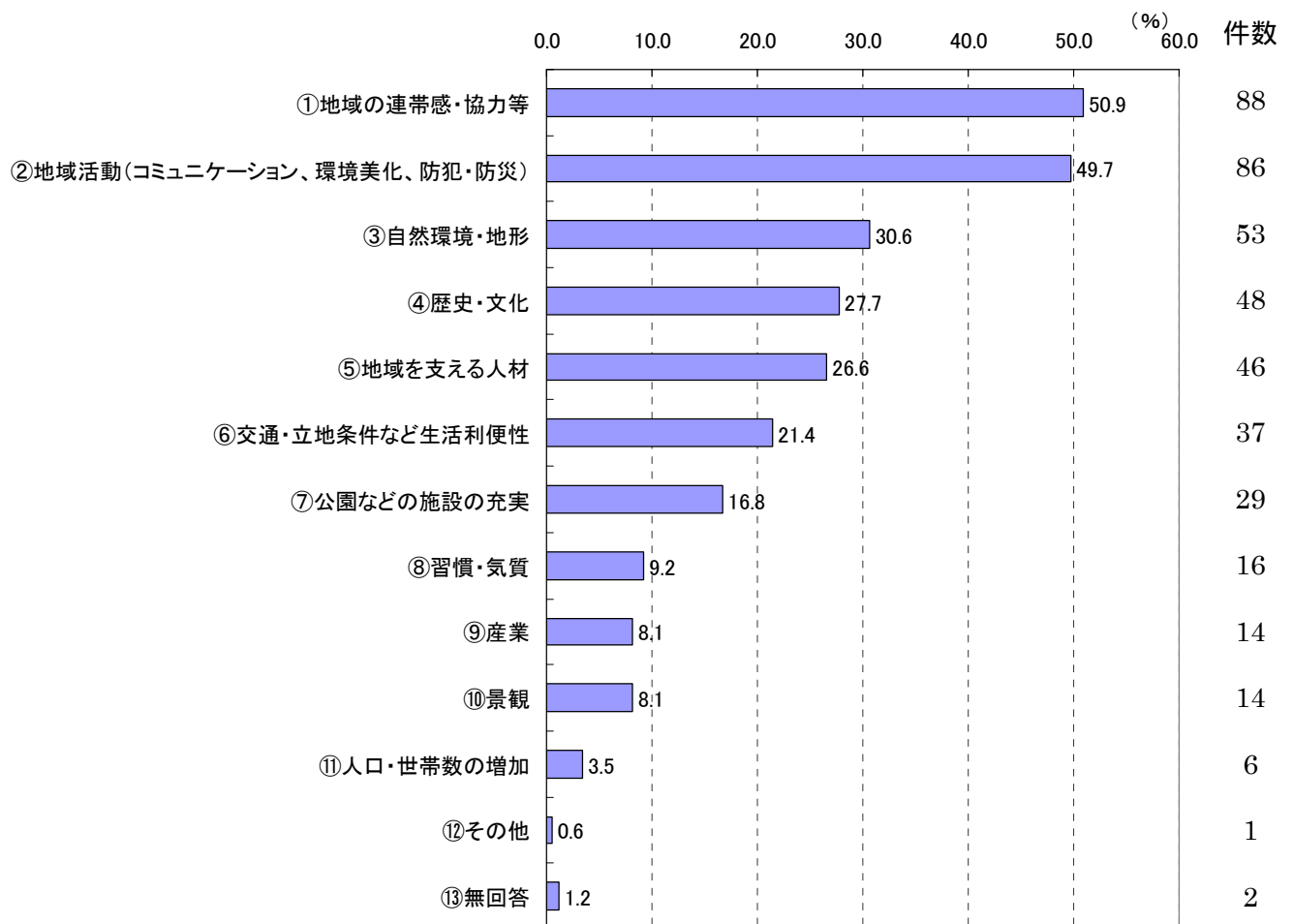
活動分野別	件数	割合
保健・医療・福祉	42	24.3%
子どもの健全育成	16	9.2%
文化・芸術・スポーツ	26	15.0%
まちづくり	26	15.0%
環境	28	16.2%
その他	30	17.3%
無回答	5	2.9%
全体	173	100.0%

(2) 地域（磐田市）の特性について

問3 地域の強みは？

地域の強みをお尋ねしたところ、「地域の連帯感・協力等」が50.9%で最も多く、「地域活動（コミュニケーション、環境美化、防犯・防災）」49.7%、「自然環境・地形」30.6%がつづいている。

【市全体】



N = 173

(上段、件数：件/下段、割合：%)

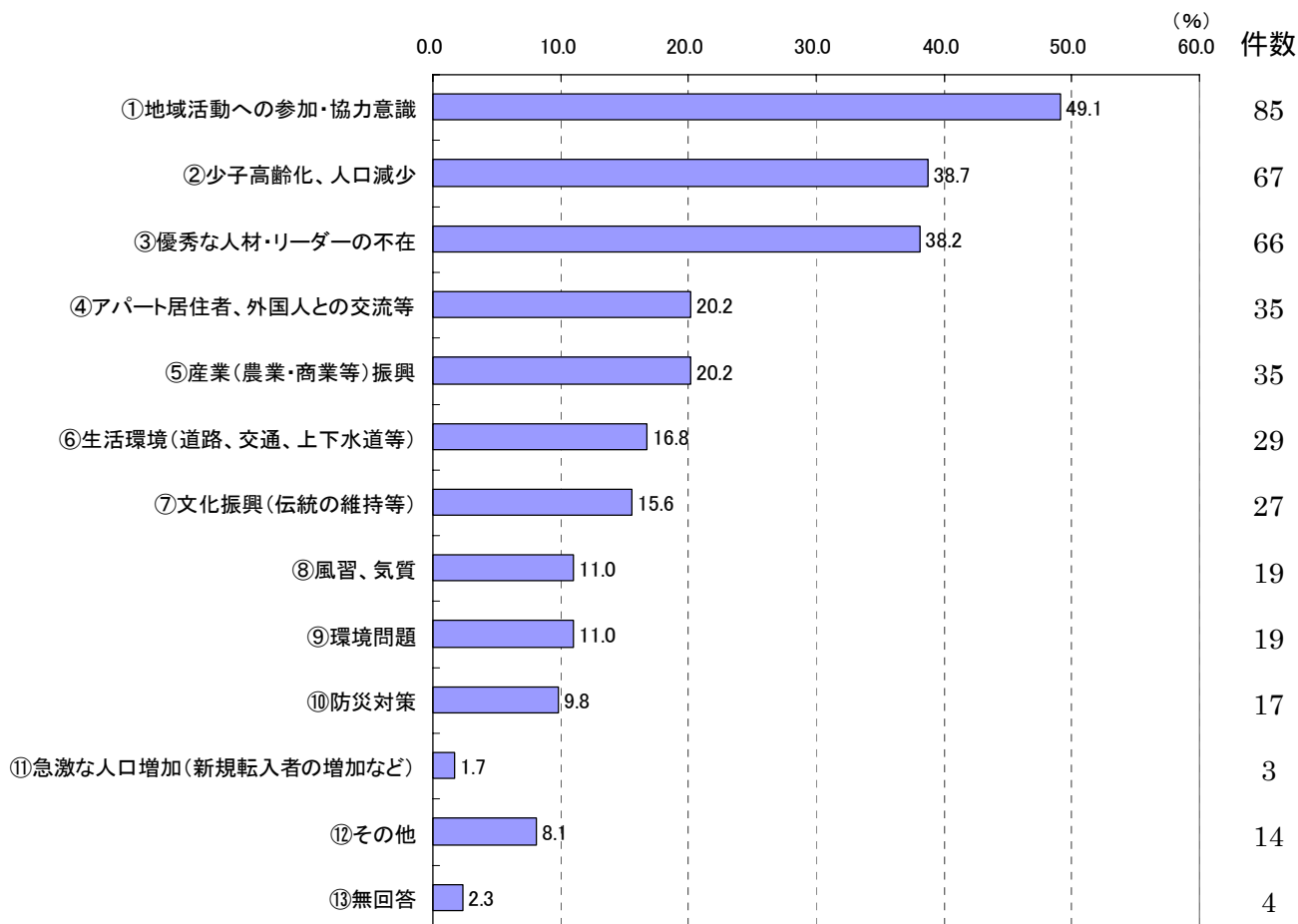
【活動分野別】

項目													
保健・医療・福祉	24	21	15	10	10	12	3	4	3	6	0	0	0
(42 団体)	57.1	50.0	35.7	23.8	23.8	28.6	7.1	9.5	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0
子どもの健全育成	4	5	5	6	6	6	5	2	0	0	0	0	1
(16 団体)	25.0	31.3	31.3	37.5	37.5	37.5	31.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
文化・芸術・スポーツ	12	8	6	11	10	5	4	2	3	2	1	0	0
(26 団体)	46.2	30.8	23.1	42.3	38.5	19.2	15.4	7.7	11.5	7.7	3.8	0.0	0.0
まちづくり	17	16	8	9	8	4	1	2	1	3	3	0	0
(26 団体)	65.4	61.5	30.8	34.6	30.8	15.4	3.8	7.7	3.8	11.5	11.5	0.0	0.0
環境	18	15	13	5	7	6	3	2	6	1	1	0	0
(28 団体)	64.3	53.6	46.4	17.9	25.0	21.4	10.7	7.1	21.4	3.6	3.6	0.0	0.0
その他	12	19	4	7	4	5	11	3	1	1	1	1	1
(30 団体)	40.0	63.3	13.3	23.3	13.3	16.7	36.7	10.0	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3

問4 地域の弱みは？

地域の弱みをお尋ねしたところ、「地域活動への参加・協力意識」が49.1%で最も多く、「少子高齢化、人口減少」38.7%、「優秀な人材・リーダーの不在」38.2%がつづいている。

【市全体】



N = 173

(上段、件数：件/下段、割合：%)

【活動分野別】

項目													
保健・医療・福祉 (42 団体)	20	14	21	10	5	8	3	8	3	5	1	4	1
	47.6	33.3	50.0	23.8	11.9	19.0	7.1	19.0	7.1	11.9	2.4	9.5	2.4
子どもの健全育成 (16 団体)	10	5	9	4	1	3	3	3	1	0	0	0	0
	62.5	31.3	56.3	25.0	6.3	18.8	18.8	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
文化・芸術・スポーツ (26 団体)	12	11	7	3	4	5	7	3	2	2	0	1	1
	46.2	42.3	26.9	11.5	15.4	19.2	26.9	11.5	7.7	7.7	0.0	3.8	3.8
まちづくり (26 団体)	14	11	10	6	6	2	8	1	2	4	0	2	0
	53.8	42.3	38.5	23.1	23.1	7.7	30.8	3.8	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0
環境 (28 団体)	10	13	8	5	8	7	3	1	7	2	1	3	0
	35.7	46.4	28.6	17.9	28.6	25.0	10.7	3.6	25.0	7.1	3.6	10.7	0.0
その他 (30 団体)	17	11	9	8	10	4	3	3	4	3	1	3	1
	56.7	36.7	30.0	26.7	33.3	13.3	10.0	10.0	13.3	10.0	3.3	10.0	3.3

(3) 磐田市の今後の取り組み

問5 今後の取り組みとして特に重要であると思うものは？

今後の取り組みとして特に重要であると思うものをお尋ねしたところ、「高齢者福祉の推進」が38.7%で最も多く、「子どもの教育の充実」31.2%、「地域の力を高める」28.3%がつづいている。

【市全体】



N = 173

活動地域別・活動分野別ベスト5

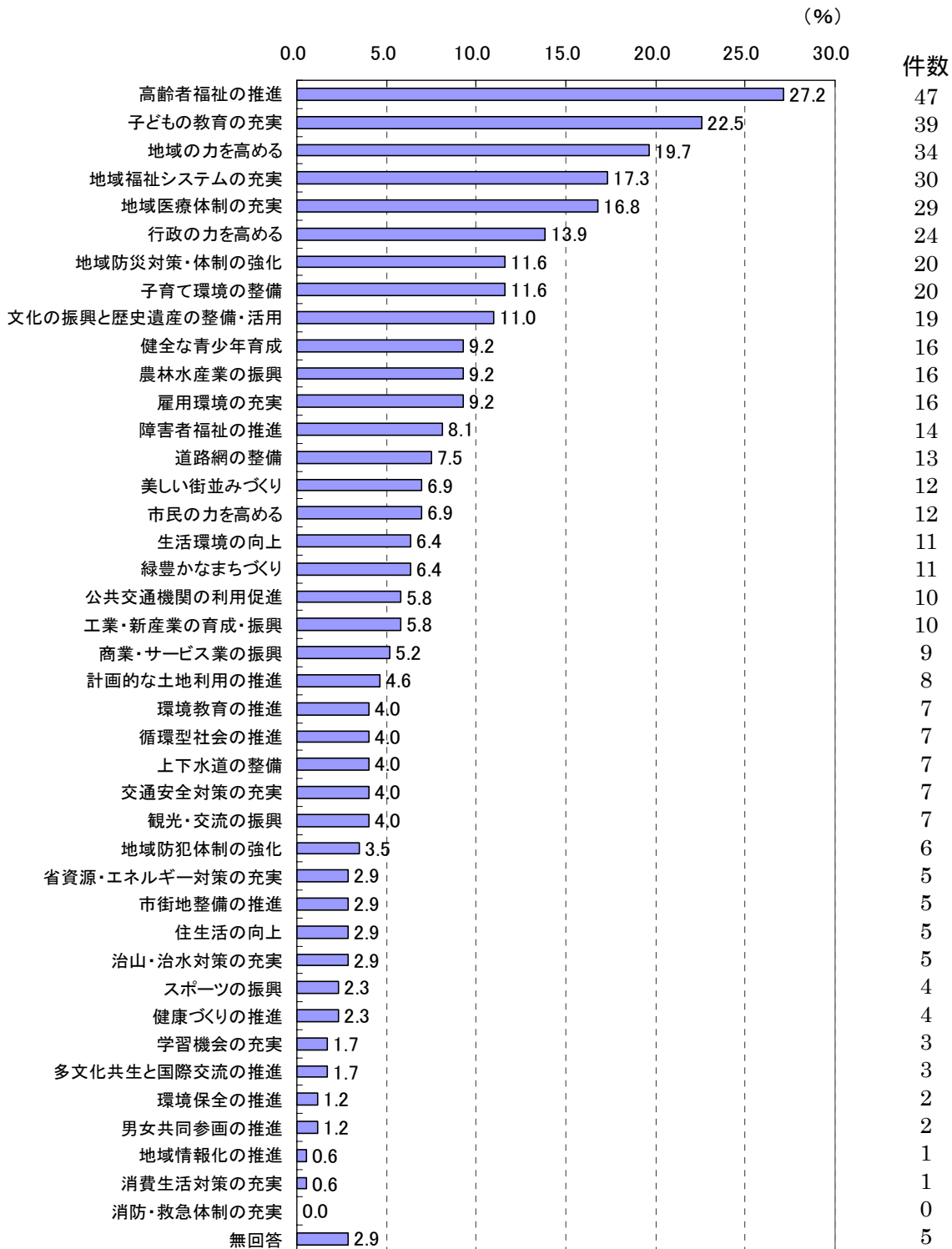
【活動分野別】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
保健・医療・福祉 (42団体)	30 高齢者福祉の推進 21 50.0%	28福祉システムの充実 19 45.2%	40 地域の力を高める 15 35.7%	15 子どもの教育の充実 41 行政の力を高める 12 28.6%	
子どもの健全育成 (16団体)	15 子どもの教育の充実 10 62.5%	10 緑豊かなまちづくり 6 37.5%	16 健全な青少年育成 5 31.3%	30 高齢者福祉の推進 40 地域の力を高める 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 29 子育て環境の整備 3 環境教育の推進 4 25.0%	
文化・芸術・スポーツ (26団体)	30 高齢者福祉の推進 9 34.6%	33 地域医療体制の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 7 26.9%			40 地域の力を高める 31 障害者福祉の推進 6 23.1%
まちづくり (26団体)	30 高齢者福祉の推進 11 42.3%	15 子どもの教育の充実 40 地域の力を高める 8 30.8%		18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 7 26.9%	41 行政の力を高める 9 道路網の整備 6 23.1%
環境 (28団体)	30 高齢者福祉の推進 9 32.1%	22 地域防災対策・体制の強化 34 農林水産業の振興 8 28.6%		15 子どもの教育の充実 40 地域の力を高める 4 生活環境の向上 39 市民の力を高める 7 25.0%	
その他 (30団体)	30 高齢者福祉の推進 41 行政の力を高める 11 36.7%		15 子どもの教育の充実 9 30.0%	40 地域の力を高める 33 地域医療体制の充実 7 23.3%	

問6 特に優先すべきものは？

特に優先してすべきものをお尋ねしたところ、特に重要なことと同様に「高齢者福祉の推進」が27.2%で最も多く、「子どもの教育の充実」22.5%、「地域の力を高める」19.7%がつづいている。

【市全体】



N = 173

活動地域別・活動分野別ベスト5

【活動分野別】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
保健・医療・福祉 (42団体)	30 高齢者福祉の推進 21 50.0%	28 地域福祉システムの充実 19 45.2%	40 地域の力を高める 15 35.7%	15 子どもの教育の充実 41 行政の力を高める 12 28.6%	
子どもの健全育成 (16団体)	15 子どもの教育の充実 10 62.5%	10 緑豊かなまちづくり 6 37.5%	16 健全な青少年育成 5 31.3%	30 高齢者福祉の推進 40 地域の力を高める 29 子育て環境の整備 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 3 環境教育の推進 4 25.0%	
文化・芸術・スポーツ (26団体)	30 高齢者福祉の推進 9 34.6%	15 子どもの教育の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 33 地域医療体制の充実 7 26.9%			40 地域の力を高める 31 障害者福祉の推進 6 23.1%
まちづくり (26団体)	30 高齢者福祉の推進 11 42.3%	15 子どもの教育の充実 40 地域の力を高める 8 30.8%	18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 7 26.9%		9 道路網の整備 41 行政の力を高める 6 23.1%
環境 (28団体)	30 高齢者福祉の推進 9 32.1%	22 地域防災対策・体制の強化 34 農林水産業の振興 8 28.6%		15 子どもの教育の充実 40 地域の力を高める 4 生活環境の向上 39 市民の力を高める 7 25.0%	
その他 (30団体)	30 高齢者福祉の推進 41 行政の力を高める 11 36.7%		15 子どもの教育の充実 9 30.0%	40 地域の力を高める 33 地域医療体制の充実 7 23.3%	

(4) 協働のまちづくりについて

問7 - 1 現在、取り組んでいることは？

現在取り組んでいることとしては、172の団体より130件の取り組みをあげていただきました。総合計画の基本目標により分類すると、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」が81件と最も多く、「環境にやさしいまちづくり」57件、「豊かな心を育み活躍できるまちづくり」48件がつづいている。

【基本目標別取り組み数】

基本目標	取り組み数
環境にやさしいまちづくり	57
住んで良かったと思えるまちづくり	18
豊かな心を育み活躍できるまちづくり	48
安全・安心なまちづくり	13
やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	81
交流と活力のあるまちづくり	4
計画推進のために	37
その他	2
総計	260

基本目標1 環境にやさしいまちづくり

取り組み内容
遊休農地を利用したホタル園の整備。ホタル鑑賞会の開催を通じて見学者にホタルの生態を紹介
全滅危惧種ベッコウトンボの飼育に取組み、種の保全と環境保全を目指す。
里山の自然に目を向けてほしいため、講師のお話を聞く場を設けている。
ホタルを飼うことで環境保全をして豊田地区の地下水を汚さないようにする。 子供たちと一緒に小さな虫、小魚を保護していきたい。
環境推進
ひょうたん池周辺の自然環境の保全、豊かできれいなひょうたん池の湧水の保全
川の観察（月1回）
水辺の里を活用した地域の活動の展開
地下水を保全したい。
全国トンボ市民サミットの諸団体と交流。あかとんぼ全国調査を継続する。
カワニナに餌を与える。（月3～4回）
環境保全、草刈り、空缶拾い等
誰もが持っている美しいもの、懐かしいもの、有意義なものへの思いを引き出すこと。その思いを一つの目的として顕在化し、賛同者を募る。

取り組み内容
磐田原大地の西端に広がる貴重な照葉樹林帯と祝川に挟まれた里山の自然を生かした人と自然の調和した潤いのある環境の継承
学校プールやご救出作戦を展開。やごの羽化の感動を全学童に広めたい。トンボ観察秋を充実させ、自然環境問題への関心を高める。
桜を植樹して里山づくり
子どもを対象とした自然環境教育の普及（古代米の田植えで収穫）
祝川の川遊び、どんぐり工作、四季に応じた自然観察会（豊田南幼稚園、豊田南小児童）（一言地区の子供会）
日常生活の中で自分にできる地球環境改善を考え実践していくこと。
子ども達への環境に対する意識向上へのカルタづくり
河川の清掃
見付の町を2時間以内で散歩をしながら地域のよさを再発見、集う方との交流を目指した「見付de散歩」を行っていました（現在休止中）。全国で「小路サミット」が催されるように小路の多い見付は歩くのがとても楽しく、全国で誇れるのではないだろうかと考えます。
毎月1回朝30分位かけて、明治の道を美しくするために10人程度の人たちが清掃活動に取り組んでいる。
まち美化パートナー制度発足から4年間、磐田～国分台線の美化活動を実施
まるかわぎょうざ、西北側竹林の整備（地主の方と一緒にやっている。）
地域内の公園の清掃を役員一同で毎月行っている。
町内の公民館の掃除など
河川美化活動
清掃活動（道路、側溝）
昨年度ハマボウ公園利用者の皆さんで公園の草取りをしようと、グランドゴルフを楽しんでいる老人達で愛好会を設立（公園美化のため会員480名ほど）。主に夏季の草取り、草取り後の土の補充等
空缶集め作業時に周辺の清掃を行っている。
海岸清掃活動
マンション跡、空き地にポイ捨て等の荒地に花を咲かせ、住民とのコミュニケーションを図る。
地域に花のある生活のため、その美化とを少々協力し合いながらやっている。
草刈り
地域づくりで花を植えたり除草作業をしています。
町内の環境美化活動
神社などの清掃
大池川堤防草刈り、今之浦川（水面）ごみ拾い（カヌーにて）
町内美化運動
清掃活動
神増坂遊歩道の整備（草刈り、倒木の片付け、崩壊箇所の補修）

取り組み内容
町内の公園の草刈りなど
美化運動による奉仕活動（缶拾い等）
天竜川河川敷でのごみ拾い
環境美化運動
環境美化活動
府八幡の掃除
堤防等の雑草草刈り
愛玩動物の適正飼養
古紙回収拠点（ボックスを置いてある。）
ごみの仕分けの徹底
毎月第3土曜日 9:00～10:00 市役所本庁玄関前にて、上質紙 5 kgとトイレトペーパー1 個と交換（協力者：まちづくりサポーター5 名と市内中学生生徒と先生）
循環型社会推進のため 3 Rの考えを進める活動（3 Rとはの話、リサイクル工作）・資源ごみの回収強直（月1 回第4 日曜日）とそのマナーの啓発
各家庭から出る不用品交換会、ごみ分別の勉強
市が回収していない資源ごみの回収（割り箸、牛乳パック、アルミ食器、陶磁器）
市民が困っているごみの回収（人形供養祭の開催年1 回）

基本目標 2 住んで良かったと思えるまちづくり

取り組み内容
農地の有効利用、農道の美化
磐田天竜線の県道をプランター等を利用し花街道にしたい。現在公園の前とJA ガソリンスタンド前に設定しております。道路を明るくするため
花壇づくり
園芸相談会・・・花みどりの普及、指導を担当、オープンガーデンの普及講座
桜の苗木を今之浦川と安久路川の堤防に植樹をしている（つつじ公園の桜が老木化しているため、今之浦と安久路が桜の名所になるよう努力したい。
河川の緑化整備、休耕地の緑化
グリーンバンクを利用して、植栽・植樹管理
桜の木の植樹等による美しいまちづくり
花とみどり溢れる磐田市であることを願い市の花壇の植栽を行っている。
会員一般の市民との交流の場として花、みどりに関する知識と技術の向上のための講習会等開催
公園の一隅に花壇を作っていた一人の方の後をついで、町内の募集に応じた主婦のグループ、市のグリーンバンクに属し、8 年位輪番制で責任者を交替。高齢化と共に会員が減り現在 10 人位
公園内花壇の整備
カワバタモロコ保護池を中心に据えた「水辺の里（公園）」づくり
大原新町公園美化・整備

取り組み内容
公共施設の管理 特に公園内の清掃（トイレ、ごみの投げ捨て等）
移動サービスのネットワークづくり（日常生活の足の確保について）
NPO 法人同士の相互ネットワークによる情報共有
情報発信（ニュースレター発行、ブログ、冊子作成）

基本目標 3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり

取り組み内容
読書県静岡という言葉を目標に、子ども達に本に親しむ機会を多く提供したいと思います。小・中学校での朝の読み聞かせ、特に感性鋭い中学生にもっと機会が増えればと思い学校の先生と協力して進めております。
青城小、豊田南中の読み聞かせ
子供会等で子どもへのプレゼント、または子供達と一緒に物をつくる活動
子ども達に夢、希望を持たせる。昔ながらの遊びを覚える（竹とんぼ）。自分で考え、工夫して何かを作る（しめ縄、わらぼうし等）
子供たちの健やかな命を育む環境づくりを考え実践していくこと。
子どもの無限の可能性を引き出し、認め、褒める、劣等児を優良児への取り組み
個人相談（うつ病、不登校、切れる子） 幼稚園学校への講師派遣
児童館活動への協力、支援。幼稚園・小学校への支援
幼児からの食教育
青少年育成事業
不登校や不良少年、心の障害で悩む青少年（障害者含む）の健全育成
青少年健全育成会の設置、町内各団体で構成し、交通指導、夜間防犯巡視、非行防止運動を実施
ボーイスカウト活動を通じて小 1～大学生まで、グループした中で青少年の健全育成。具体的には良い大人となって人のために尽くせる人材、幸せな人生を送れるよう指導
健全は青少年期の感情を育てる。
成人の健康と体力の増進指導事業等
講座等の開催
心豊かな毎日の生活（暮らし方）についての学習
日本の伝統、文化、日本神話、古事記勉強会を開催、教育講演会開催
社会教育の推進
有益植物（ハーブなど）を自ら栽培、収穫、利用について実習しながら生活を楽しむ。
子ども達の夏休みの思い出となる上映会の開催
豊岡総合センターを利用できるように
人の体の原点である天然動植物の持つ力についての学習

取り組み内容
先進地域、施設活動の視察研修により新情報収集
ひょうたん池周辺に一人でも多くの市民が親しめる自然学習設備と安全施設の充実
美術文化の啓発のための絵画作品の展示や会報の発行
演奏会鑑賞機会の提供（主にクラシック音楽コンサートの開催）
文化的な勉強（古典など）
ぐりぐら広場でのパネルシアターなど
国分寺跡の活用のため、市民活動を盛り上げるため国分寺際を実施している。
イベントの時協力していただいている。
ジュピロ似顔絵コンクールや河川美化、防犯ポスターなどの審査
祭典を通しての子ども達への伝統文化の育成
活動のサポートをしていただいている。（相談、協力など）
伝統を次の世代にいかに伝えていくか、新しい文化を生み出すこと。
磐田市住民の文化の向上へのきっかけづくり
地域のための文化活動
地域の民族や歴史を調査研究し、市民に発信
国分寺七重塔再建の活動を市民が一つになって実行することにより大きな夢を共有できる。
国分寺跡の活用のため、戦後の国分寺周辺の変化を聞き取り調査をしている。
豊かな街にするためにふるさとのよさに目を向ける文化財発掘活動
地域歴史・文化の保存（壊してしまえば復元できないものもある。）
日本に古くから伝わる餅つきの勉強会と餅つき体験
保育園への巡回サッカー教室（これは拡大したい。）
地域スポーツの振興
多文化共生社会に生きる子供たちの育成に関わるイベントづくり
一人ひとり意識を世界の恵まれない子ども達への支援まで高める。（書き損じハガキ収集運動）
お祭りなどにも老若男女が参画して盛り上げる。

基本目標 4 安全・安心なまちづくり

取り組み内容
災害時の迅速な安否確認のための黄色いタオルの表示
災害時一人も見逃さない活動と日頃の取り組み
子どもの見守り（下校時）
自治会の範囲を超えた地域環境
防犯パトロール
防犯、防災体制の確立（青パト実施、ボランティア）
小学校児童の下校時のパトロール、自町のパトロール
連携なく各自が児童見守り、防犯活動を行っている。

取り組み内容
あいさつ声かけ運動や下校時の通学路での見守り活動
児童の通学時、交通安全の見守り活動、防犯のボランティア巡視
青色回転灯防犯パトロール
朝の登校時間帯に街角に立ち、登校する児童に挨拶運動と交通安全意識の高揚に努めている。
交通安全活動の推進

基本目標 5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり

取り組み内容
地区社協の設立。高齢者、障害者、子ども等社会的弱者の支援ネットワークの構築を目指している。
福田地区社会福祉協議会の立ち上げ
安心、安全ネットワーク協議会を福祉に特化し、組織や規約の改定をしている。
地域住民誰もが適正にスムーズに福祉サービス支援が受けられるように各委員の担当地区の状況把握及び研修
障害を持った子が地域に気軽に出て行けるようボランティアの養成
中学生ボランティアの活用
福祉活動全般
いわた市民活動センターの一員として会に入っています。ご要望に沿うように努力しています。
古切手整理（盲老人ホームへ送っている）、ベルマーク整理（施設へ送っている）、プルタブを集めて車椅子を寄付できるように頑張っている。
地域における福祉活動事業への参画と取り組み
友愛活動、奉仕活動
磐田国際交流協会や観光ボランティアガイドなどのボランティア活動（史跡・文化財案内、各種イベントの開催、日本語教室など）
社会的弱者の見守り活動の推進
地区社協活動
自治会長、福祉委員、民生委員、児童委員の合同会を開き、細部にわたる地域の情報連絡をしている。
福祉活動を地区住民に分かりやすいように実践事例を紹介している。地区社協だよりをカラー印刷、全戸配布
地域に地区社協の組織化を行い、現在は地域福祉に係る啓発活動を主に行っている。（研修会など）
若者層へのボランティア参加の呼びかけ、PR活動
障害者団体として支援を受けるだけでなく、積極的に地域の力をなるべく諸行事に参加している。
「地区社協だより」の発行で、住民福祉への関心を高めている。
福祉講演会を開いて社会の現状把握に努めている。
子ども、親、一般の悩みに関する書籍の紹介、相談等

取り組み内容
対象が限られていますが、子育て支援として市と協働で子育て情報誌を発行していますが、今年4月が最終号（vol.5）。今後はHPを立ち上げたので子育て情報をそこからお伝えしていきます。
子ども達の幸せのための母親教室、教育勉強会をテーマを決め、毎月開催
赤ちゃん相談会開催
いわたっ子サポート事業（子育て支援）
子育て環境の充実（放課後児童クラブ管理運営、託児ボランティア）
子育てサロンへの支援、交流等 放課後児童クラブへの支援
地域での子育てサロンの新規立ち上げと充実
子育てへの支援
子育て支援への手伝いをし、母子引きこもりの環境を改善する。
地域の子ども達との交流
子育てや発達障害の理解と支援のためのセミナーの開催
子育て、発達障害についての相談活動
子育て支援センターでの講座、自分たちが主催となるナチュラル講座や講演会等で情報提供を行っている。
いきいき健康クラブで高齢者の健康維持と生きがい
老人クラブに在籍しているので、老人クラブの活性化（趣味、対話、奉仕）と入会促進（若い人達）に取り組んでいる。
高齢者サロンの推進
生き生きサロン楽習会、老人会への支援
親子のふれあいや世代間交流を通し子育て支援をしている。（見付キッズ、富士見キッズ）
介護相談の窓口
認知症予防講座の開催
単位自治会ごとの高齢者の交流（ボケ防止、介護予防）高齢者サロン
介護予防の出前講座
高齢者、独居世帯へ月1度お弁当の宅配をしている。安否確認、短い時間ですが話し相手をさせていただいている。
一人暮らし、高齢者だけの世帯の実状調査と支援
高齢者の弱者への支援、見守り活動
高齢者（80～90歳）と子ども達との交流の場を作っている。
高齢者サロン活動への手伝い（各自治会単位のサロン等）
高齢者世帯（一人世帯も含め）の見守り
高齢者世帯への給食ボランティアサービス
高齢者世帯見守り活動、支援
独居老人との交流会
施設慰問（年間2～4回）

取り組み内容
高齢者なかよしサロン等で高齢者と一緒に物をつくったりする活動
災害時見守り助け合いカードをもとに要援護者と支援者の日頃の交流を進めている。
老人施設や公民館での高齢者を励ます芸能活動
老人同士の見守り
高齢者サロンの支援や交流会支援
地域での高齢者サロンの新規立ち上げと充実
高齢者福祉
いこいの会、町内婦人団体、老人クラブ、自治会当で組織した団体で特に高齢者福祉事業に展開している。
身障者への行事参加の協力
災害時見守り助け合いカードをもとに要援護者と支援者の日頃の交流を進めている。
少子高齢化の問題
障害を持った子が地域の方との交流、お茶会を開く。
障害者の弱者への支援、見守り活動
障害を持った子、親の遊び場を通して関わりを広げる。
市内の各企業との連携（作業提供）を図っている。
健康教育
健康づくり
グランドゴルフで健康推進
PPK-100 を目指している（食と健康）について勉強。元気で 100 歳を農産物等で
グランドゴルフを通して地域の高齢者の健康づくりや住民との交流を図る（遠州地区全域で年間 50 回以上の G・G 大会（平均参加者 200 名位）に参加、他地域との交流を図る。
小学 4 年生との食育活動
高齢者が楽しく体を働かせ健康づくり（マレットゴルフ）
健康相談会の毎月 2 日開催継続
スポーツで体力づくり
まちづくりサポーター（健康に関する講演の講師）
看護予防
見付の街の歴史を学び、脳の活性化を図っている。

基本目標 6 交流と活力のあるまちづくり

取り組み内容
クッキングフェスタ（地産地消）
地域のお宝を発見し、まちづくりに活かす事業
明治時代に中断した天竜川池田の花火大会を 100 年ぶりに復活。天竜川祭り花火大会の開催
若者支援（インターシップ、ボランティア受入）

基本目標 7 計画推進のために

取り組み内容
「花咲く静岡運動」に参画しており県の行う各種イベントに参加
参加者の団結と協働意識を深める。
住民の意識改革
行政や他団体とのつながりを持つようにしている。
本会の活動を通して「協働」の地域力を向上させる。
「心の時代」心を育み、心遣いが見える人・街づくり講習会の開催
必要とされている形で情報提供
広報活動
幼稚園、小学校との交流（輪投げ、グランドゴルフ、カラオケ等）
市民活動センターに登録、利用している。
唱（合唱）をお届けする。合唱祭に参加することで、相互のレベルアップを目指している。
地域住民によるイベント企画、参加
支援金の集金、分配
まちづくりネットワーク事業（情報収集発信、人材発掘育成、団体支援など）
役員等の負担軽減と手続きの簡素化、地域の主体化に努力している。
地域住民の共同作業
地区内での納涼祭り、運動会等のイベントの開催
福祉施設ということもあり、民生委員、地域の方々とのふれあい
地域の活性化及びコミュニティ
自治会の活動が浸透するようにできるだけ協力する。
地域との一体化（役員を地域から選出し大会を運営）
地域の人達との共通意識を持つこと。
同じ所に住んでいるという共通意識を持つこと。
クリスマスコンサート開催
市民応接室の運営
地域（自治会他）とのコミュニケーションづくりに努力
人との交流
見付の街に明るい話題を提供していく。
地域が緩やかに、でもつながっていくためのイベント
高齢者と小学生とのふれあいグランドゴルフ大会の開催
あいさつ運動（毎月初単位自治会ごとに通学路で実施）
地域力を高めるための勉強会
運動会等による町内活性化
地域サロンの実施（老人と児童のふれあい）
趣味を生かし新たなものにトライしている。（お茶、読書、短歌、書道等）

取り組み内容
地域活動の場の提供
住民の住みやすい地域にするための住民活動を行っていますが、ここ1～2年経費節減で市の助成、自治会の助成また会員の会費を出すほど家計（給料）も厳しく先細りで意欲も下降気味で残念です。
老人会各種団体への助成等

その他

取り組み内容
池田地区自治会を中心にした募金活動
良いと思うことは発案、実行していく。

問7-2 現在、取り組みたいことは？

今後取り組みたいこととしては、109の団体より171件の取り組みをあげていただきました。総合計画の基本目標により分類すると、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」が52件と最も多く、「計画推進のために」37件、「環境にやさしいまちづくり」27件がつづいている。

【基本目標別取り組み数】

基本目標	取り組み数
環境にやさしいまちづくり	27
住んで良かったと思えるまちづくり	10
豊かな心を育み活躍できるまちづくり	26
安全・安心なまちづくり	8
やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	52
交流と活力のあるまちづくり	10
計画推進のために	37
その他	1
総計	171

【個別取り組み内容】

基本目標1 環境にやさしいまちづくり

取り組み内容
沼の遷移による水草の減少をくい止めるため、水草増殖を進めたい。
里山に関心を持つ人が少ないのでPRに心がける。(人材が少ないので今後が不安)
里山に植樹
現在取り組んでいることの継続(ひょうたん池周辺の自然環境の保全)
太田川に自由に入れて遊びのできる川
各種トンボの増殖にも取り組みたい。卵からやごの羽化まで観察させたい。
無農薬の田んぼで昔のように赤とんぼを発生させたい。
ホタルの舞う自然環境の推進
荒れた休耕地は地主に管理の徹底に取組み
市内にある薬草公苑、自然学習施設などの有効利用
子ども達も巻き込める環境対策を考え実行していきたい。
多様な自然観察会の実施(野鳥)
姉妹都市駒ヶ根市のトンボ市民サミットを応援したい。バス1台で参加を
清掃区域の上下流の清掃をしている団体との統一活動

取り組み内容
明治の道は坂道で、通勤時間帯には結構車の往来も多い。上には木の枝葉、古い幹など落下する危険もあるので、行政の力で取り払っていただきたい。(本来は地主の責任であろうが、なかなかやろうとしない)
花育・・・子ども達中心に花を育てる環境づくり
更なる他地域へのアピールを。もっと活動の輪が広がるように。
地域づくりも2～3年で助成金も打ち切りとなるため、花の種蒔きから挑戦しようと思う。
大池川堤防草刈り、今之浦川(水面)ごみ拾い(カヌーにて)
動物取扱業者さんの質の向上に向けた行政の働きかけをお願いしたい。
市民に呼びかけて猫の放し飼いは止めてほしいと思う。
市民に呼びかけて猫の避妊、去勢を行ってほしいと思う。
豊岡に市営共同墓地を建設して、協働により管理・運営。市民企業として運営していきたい。
旧磐田市だけでなく、広く磐田市全体でごみについて考えている団体、一市民、環境衛生課の職員の方、自治会の中でごみに関心を持つ役員の方たちと一本化した交流、話し合いの場を定期的にもっていきたい。
ごみの排出軽減対策
3Rの啓発活動(すでに小学生やサロンでのお年寄りに実施)。3Rとはなんぞやから、牛乳パックで工作、紙すきしてハガキを作ったり、ペットボトルで風車などを作ることで、リユース、リサイクルを啓発。更に多くの機会を持ちたいと思う。
上下水道の整備

基本目標2 住んで良かったと思えるまちづくり

取り組み内容
市からの補助金と自治会の少しの助成金で四季の花を坂氏地域の人々の潤いとなればと思う。会員が減らないよう共に励ましあい親睦の場として続けたい。若い人が入会しないので工夫したい。
生活の憩いの場としての緑と花の豊かな公園、散歩道
公園らしくなり、憩いの場としても活用されるようになってきたので、それを更に推進していきたい。
地域内道路沿い花一杯運動
自然環境に近い公園整備と活動の輪の広がり
大原新町公園美化・整備
社山城跡を公園化して協働により管理・運営
街の景観の中心(駅北の開発)(シャッター通り)整備に当会の力を提供したい。
景観づくりのための計画、モデルの作成
地域ごとに自立した交通システム(あらゆる交通形態が選択できるシステム)を構築させるため、その手助けとしての中間支援を行う。

基本目標 3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり

取り組み内容
これからの日本、県、市を支えるのは、教育の再生。行政と相談をしたい。
現在の活動をより充実させ質の向上を目指すこと（児童館活動への協力、支援、幼稚園・小学校への支援）
全県下幼稚園や小・中・高の学校のPTAの方へ、「言葉の創化力」を伝えていきたい。
虐待を一番防ぐには、小さな家庭の集合体の母親教室の開催
音楽文化による青少年健全育成
左記で困っている青少年、成年、父母を年間を通じて本法人の目的達成と合わせて活動すること。
若者支援・・・不登校、不就労若者への自立支援・就労支援、家庭支援
出前講座
有益植物を食するだけでなく、暮らしの中での楽しみなど多利用の啓発
講演会や企画展、フィールドワークなどを実施していきたい。
公民館活動への支援（スケッチ会の講師、絵画制作を希望している方々への支援）
伝統と新しい文化を一つのものとしてOld New Townを作っていくこと。
公共施設への作品貸与
国分寺跡にまずトイレと休息所ができればボランティアが詰めて案内する。
市役所職員全員が国分寺のことについて知り、案内できるようにわかりやすい解説書を作る。いつでも誰でもが目の前の史跡を理解してもらう。市の職員が最初に理解してもらうために全員の検定もしたい。
文化財への関心を高める文化財探索活動
現在あるものを生かし使う
地域スポーツの振興
地区に新たなゴルフ場の設備をお願いしたい。
スポーツを通じて磐田市を元気にする。（新しいマラソンコース検討）
外国の子ども、親への支援（日本語力等）
今までは個々に外国人との交流に参加してきましたが、将来的にはグループ活動として磐田市の国産交流の一端でも担えたらいいと思っています。
恵まれない人たちを救うための募金活動
国籍の別なく青少年が集う交流活動
お見合いイベント
働く女性支援のための放課後預かり

基本目標 4 安全・安心なまちづくり

取り組み内容
防災対策
災害時要援護者避難支援助け合いカードの推進（見直し）
内容の充実した防犯、防災活動について

取り組み内容
地震風水害の予備対策
地域の福祉（住みよいまち）と防犯
現在の取り組みを継続・・・防犯、防災体制の確立（青パト実施、ボランティア）
現在の取組み継続（小学校児童の下校時のパトロール、自町のパトロール）
交通まちづくりの一体的総合的な推進を図るための交通、まちづくり計画等の策定に必要な調査等に参加したい。

基本目標 5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり

取り組み内容
活動資金の調達
地区社協の窓口を確保したい。（拠点が必要）
ボランティア活動に参加してくださる親御さんが減っているように思うので、寂しく感じることもある。ボランティア活動の良さをアピールできる機会があれば幸いと思う。そういう機会を増やす取組みがあればなあと思います。
委員の資質向上を図る上での研修及びボランティア活動の充実推進
ボランティア、リーダー育成
社会的弱者の見守り活動の充実と支援の拡大
介護するものの懇談会、悩みを少しでも解決するために（気晴らしも必要）
地区社協の取組み 地域の皆さんの参加（役員だけの地区社協にならないために）
地域社協の福祉ニーズを把握し、その課題に対応する福祉活動を具体的に実行していきたい。
福祉分野への取組み、住みよい明るいまちづくりを目指して
地区社協など立ち上げ、皆さんで協力して活動に当たる。隣接する自治会とも連携を図りたい。
行政自治会、福祉諸団体等関係機関との意見及び情報交換の場の充実推進
気軽なボランティアとして参加していただける機会を増やしPRをしていく。
高齢化に伴う地域住民の協力
子育て支援活動をするボランティアの育成
子どもの居場所づくりとして、小学校などのグラウンドを利用した放課後サッカー教室
子育て支援・・・関連機関・団体グループのネットワーク化、現況調査研究
学校単位でもっと「花育」「食育」を進め、総合的にたくましい子どもが育っていく手助けをしたい。
当初、乳幼児だった子どもは成長し、児童期に入ります。子育ては幼児期に限りません。少しずつ対象の幅が広がっていくのではないかと考えています。
現在の取り組みを継続・・・子育て環境の充実
児童委員でもある立場から子育てを取り巻く現状を把握し課題解決のための対応、対処等、行政関係機関に意見具申をしていくこと。
子ども達の育成、交流が必要
地域社会での孤立、孤独をなくすための活動、内容を考えていきたい。

取り組み内容
老人クラブ多数入会
老人達の体力増進、健康維持のためグランドゴルフの愛好者を増やし、公園美化運動にも更に力を入れ充実した会であることを望む。
明るい長寿社会実現のため貢献したい。
高齢者、障害者の社会活動参加促進、引きこもり生活の解消
中・高齢者向けの運動指導
出前講座の拡充。少人数グループでの活動を始め広める。
車に乗れなくなった高齢者が病院や買物などに行ける交通手段
日常生活に困っている高齢者世帯への隣近所の支援の在り方
独居老人（昼間一人暮らし含む）の給食サービス
施設慰問
介護グループ同志の交流会
高齢者世帯（一人暮らしも含む）などのきめ細かい見守り活動
高齢者対象のふれあいサロンにかかわるボランティアの連携、話し合い
高齢者の組織化と活動
一人暮らしの高齢者への手伝い等
私の遺伝子レベルの健康に関する講話を市民の高齢者の人たちに拝聴していただき、高齢者の皆様方が元気で長生きしていただければ、市が管理している健康保険料の節約に繋がり、健康相談等の衛生行政の仕事が縮小されるという大きなメリットがあると考えておりますから、これを推進していきたい。
高齢者支援活動をするボランティアの育成
現在取り組んでいることの継続と充実
活動場所を磐田市全市に広げての活動
県域全体に活動を広げたい。（老人施設や公民館での高齢者を励ます芸能活動）
何でも話し合って生活を楽しみたい。
現在、障害者に限定されている利用者が必要とする方々に広がっていくこと。（高齢者等）
高齢者対策
趣味クラブを作る。
子育ての不安、相談活動（特に発達障害児への具体的支援）
障害者雇用先の掘り起こしと継続雇用が可能なように様々な課題に取り組んでいく。
健康に留意してグランドゴルフ、ペタンク等の同好会を作っていく。
食と健康について勉強会を計画、年3回（講演依頼している。）
自分で自分の健康活動の充実

基本目標 6 交流と活力のあるまちづくり

取り組み内容
農産品と栄養価の名称を一体とした表記で地産地消に取り組む。
食推協の皆様と協力推進（地産地消）
農業
農産物の巡回栽培～挑戦、種から栽培までを自力で進める。
オーガニック食材の共同購入 無農薬野菜などの生産者（磐田市内）と直接繋がる。
磐田市の資源を活かしたエコグッズ製品作り販売（神社等の楠を使った洋服たんす用防虫ブロック）
磐田である（豊岡地区）ことで、特色を出していく。
磐田市にあるもので生かすことができることに取り組みたい。（それぞれの地域の特徴を生かす。）
池田やかた祭り保存会との連携を強化し、集客力の高い地域イベントにしたい。
他地域から来たお客様（サッカー観戦、ララポート買物）などへ、磐田をよく知っていただける事業（例：自転車のレンタルで街の案内、見付送迎付き散歩 e t c .）

基本目標 7 計画推進のために

取り組み内容
夢のある人づくり、街づくり
日頃の横の繋がり、趣味などを生かして団体活動の強化を図っていく。
キャンペーンの実施
市民が磐田市に何をしてほしいか、無作為抽出で 1,000 人～10,000 人くらいに対しアンケートを取ってほしい。
会員全員が活動できる体制 名ばかりの会員が多い。
地域住民同士の声かけ運動、見守り運動
地区社協活動の充実
各種会合の取り組み（お話し会、スポーツ、趣味、会食）等
町内住民の文化店、書道、絵画、作品展を開催したらどうか（文化活動）
グランドゴルフをもっとたくさんの人たちに普及したい。
ネットワークづくり、点を線に繋いで輪にしていく。
各団体の活動日程調整。一緒にやれそうなら協力する。
市内 N P O 法人の活動実態の把握（聞き取り調査）
平均年齢をもう少し下げた仲間づくりを進めたい。
住民全員が参加できる企画
他団体との交流、横のつながりを広げていきたい。
会館で年齢に関係なく、いつでもおしゃべりできるよう、地域の人達に呼びかけていきたい。
行政や他団体との関係を更に深めていきたい。
地区内の単位自治会で地区民の交流できる場や行事を考えていきたい。

取り組み内容
地域住民の協力を求める。
現在取り組んでいることを、よりお互いに自分のものとして考えていくこと。
あいさつ
日常生活での小さな困り事を気軽に支援する組織づくりとその運営
地域でのコミュニティ組織の充実
要はコミュニケーションづくりで安心、安全のまちづくり
自治会においてもいろんな面で協調体制を考えたい。
地域のネットワークづくりの学習会（ネットワークづくり活動）
世代間交流の促進
現在の取り組みを継続（あいさつ、老人と児童のふれあい）
地区社協の活動拠点づくり 公民館内に設置したい。当然机イスだけでなく、職員の配置が不可欠である。
活動の場の確保。野外活動が主であり、技術の習得のためキャンプサイトがほしい。宿泊訓練になるので、火を燃やし炊事ができること、水の確保は全体必要
地域活動の場の提供
磐田市内における分野別課題抽出と課題解決への方策の調査・研究
市職員教育（配置換え時など半年以上経たないと仕事がわからないことが多い。）
事業仕分け（無駄が多い。当て職（委員会）など止めてほしい。）
財源の確保
一部地域の利便性の対策をするのではなく、全体を見て、遅れている地区、てこ入れが必要な地区を見つけ、優先順位をつけて実施

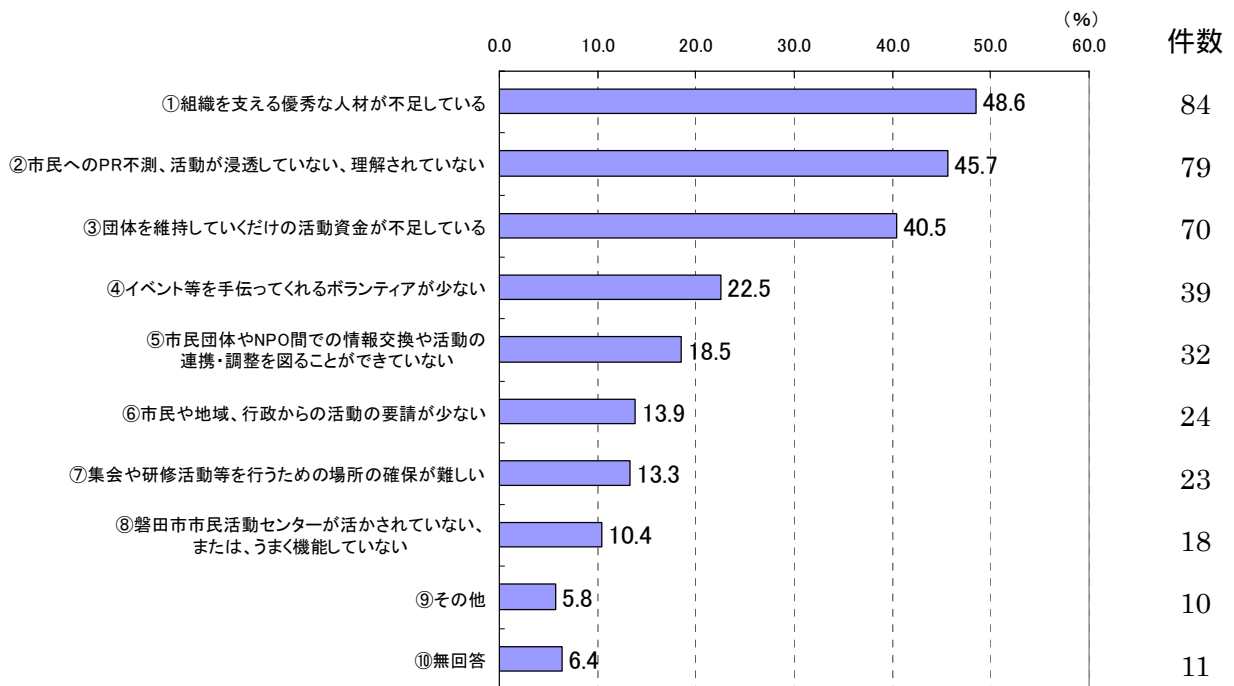
その他

取り組み内容
平和への祈りを込めて磐田市に平和の鐘を鳴らす運動

問 8 市民活動をする上で問題点は？

市民活動をする上での問題点をお尋ねしたところ、「組織を支える優秀な人材が不足している」が48.6%で最も多く、「市民へのPR不測、活動が浸透していない、理解されていない」45.7%、「団体を維持していきだけの活動資金が不足している」40.5%がつづいている。

【市全体】



N = 173

(上段、件数：件/下段、割合：%)

【市全体】

項目											基数
全体	84	79	70	39	32	24	23	18	10	11	173
	48.6	45.7	40.5	22.5	18.5	13.9	13.3	10.4	5.8	6.4	

【活動地域別】

項目											基数
見付	9	7	10	4	2	2	5	1	1	2	17
	52.9	41.2	58.8	23.5	11.8	11.8	29.4	5.9	5.9	11.8	
中泉	7	8	3	5	4	4	0	1	0	2	15
	46.7	53.3	20.0	33.3	26.7	26.7	0.0	6.7	0.0	13.3	
今之浦	1	1	0	0	2	1	0	1	0	0	2
	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
岩田・大藤 ・向笠	5	6	2	3	2	2	1	1	1	0	8
	62.5	100.0	33.3	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	
西貝・御厨・ 南御厨・田原	12	4	9	8	1	0	1	2	1	0	15
	80.0	26.7	60.0	53.3	6.7	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0	
天竜・長野 ・於保	3	1	2	0	1	2	3	0	1	0	8
	37.5	12.5	25.0	0.0	12.5	25.0	37.5	0.0	12.5	0.0	
福田	7	5	6	2	4	0	0	3	1	2	13
	53.8	38.5	46.2	15.4	30.8	0.0	0.0	23.1	7.7	15.4	
竜洋	7	9	3	0	1	1	1	3	0	1	13
	53.8	69.2	23.1	0.0	7.7	7.7	7.7	23.1	0.0	7.7	
豊田	9	14	8	7	4	3	3	1	2	1	22
	40.9	63.6	36.4	31.8	18.2	13.6	13.6	4.5	9.1	4.5	
豊岡	7	9	10	3	4	3	5	1	1	2	22
	31.8	40.9	45.5	13.6	18.2	13.6	22.7	4.5	4.5	9.1	
磐田市全域	13	12	15	7	6	4	4	2	2	1	31
	41.9	38.7	48.4	22.6	19.4	12.9	12.9	6.5	6.5	3.2	
その他	4	2	2	0	1	2	0	2	0	0	6
	66.7	33.3	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	

(上段、件数：件/下段、割合：%)

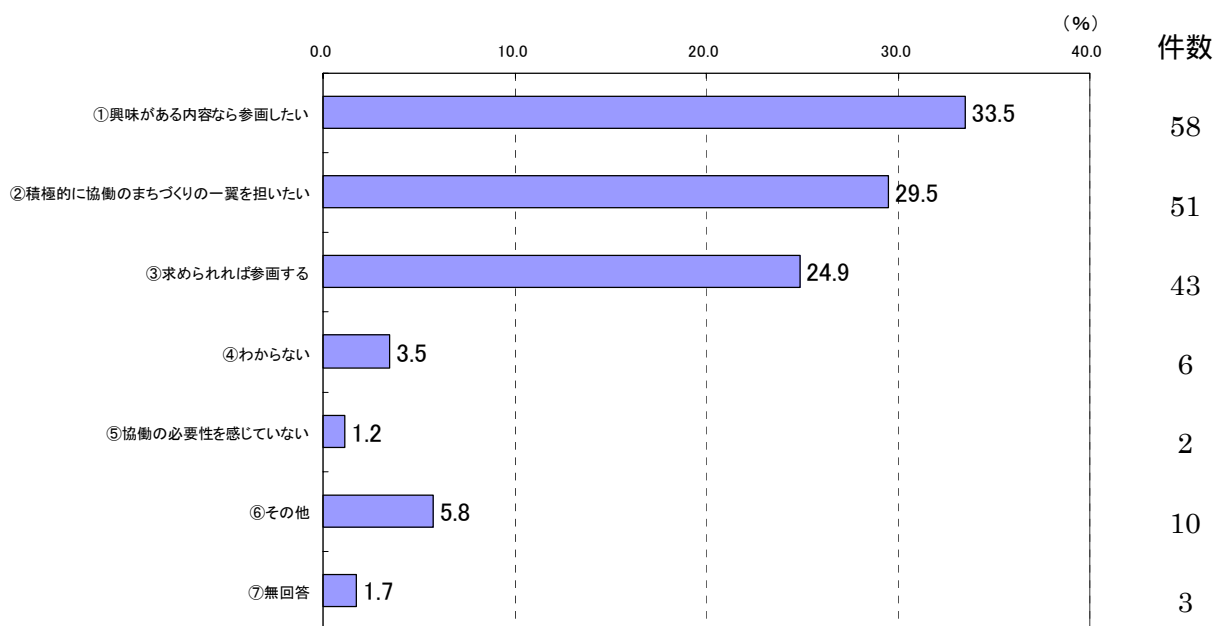
【活動分野別】

項目											基数
保健・医療・ 福祉	23	25	12	8	11	5	5	7	1	0	42
	54.8	59.5	28.6	19.0	26.2	11.9	11.9	16.7	2.4	0.0	
子どもの 健全育成	9	7	4	5	2	3	4	2	0	1	16
	56.3	43.8	25.0	31.3	12.5	18.8	25.0	12.5	0.0	6.3	
文化・芸術・ スポーツ	10	13	12	2	5	4	3	2	1	2	26
	38.5	50.0	46.2	7.7	19.2	15.4	11.5	7.7	3.8	7.7	
まちづくり	15	10	13	10	3	0	3	1	3	3	26
	57.7	38.5	50.0	38.5	11.5	0.0	11.5	3.8	11.5	11.5	
環境	13	11	12	7	6	5	3	3	3	2	28
	46.4	39.3	42.9	25.0	21.4	17.9	10.7	10.7	10.7	7.1	
その他	13	12	13	6	5	7	3	3	2	3	30
	43.3	40.0	43.3	20.0	16.7	23.3	10.0	10.0	6.7	10.0	

問9 市民・行政の協働のまちづくりの関わり方は？

市民・行政の協働のまちづくりへの関わり方をお尋ねしたところ、「興味がある内容なら参画したい」が33.5%で最も多く、「積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい」29.5%、「求められれば参画する」24.9%がつづいている。

【市全体】



N = 173

(上段、件数：件/下段、割合：%)

【市全体】

項目								基数
全体	58	51	43	6	2	10	3	173
	33.5	29.5	24.9	3.5	1.2	5.8	1.7	

【活動地域別】

項目								基数
見付	4	6	4	2	0	1	0	17
	23.5	35.3	23.5	11.8	0.0	5.9	0.0	
中泉	5	3	5	0	0	2	0	15
	33.3	20.0	33.3	0.0	0.0	13.3	0.0	
今之浦	1	1	0	0	0	0	0	2
	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
岩田・大藤 ・向笠	3	3	2	0	0	0	0	8
	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
西貝・御厨・ 南御厨・田原	7	4	1	1	0	2	0	15
	46.7	26.7	6.7	6.7	0.0	13.3	0.0	
天竜・長野 ・於保	4	2	1	1	0	0	0	8
	50.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	
福田	4	2	5	1	0	0	1	13
	30.8	15.4	38.5	7.7	0.0	0.0	7.7	
竜洋	6	1	4	0	0	1	1	13
	46.2	7.7	30.8	0.0	0.0	7.7	7.7	
豊田	5	7	9	0	0	1	0	22
	22.7	31.8	40.9	0.0	0.0	4.5	0.0	
豊岡	7	5	6	1	2	0	1	22
	31.8	22.7	27.3	4.5	9.1	0.0	4.5	
磐田市全域	8	15	5	0	0	3	0	31
	25.8	48.4	16.1	0.0	0.0	9.7	0.0	
その他	3	2	1	0	0	0	0	6
	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	

(上段、件数：件/下段、割合：%)

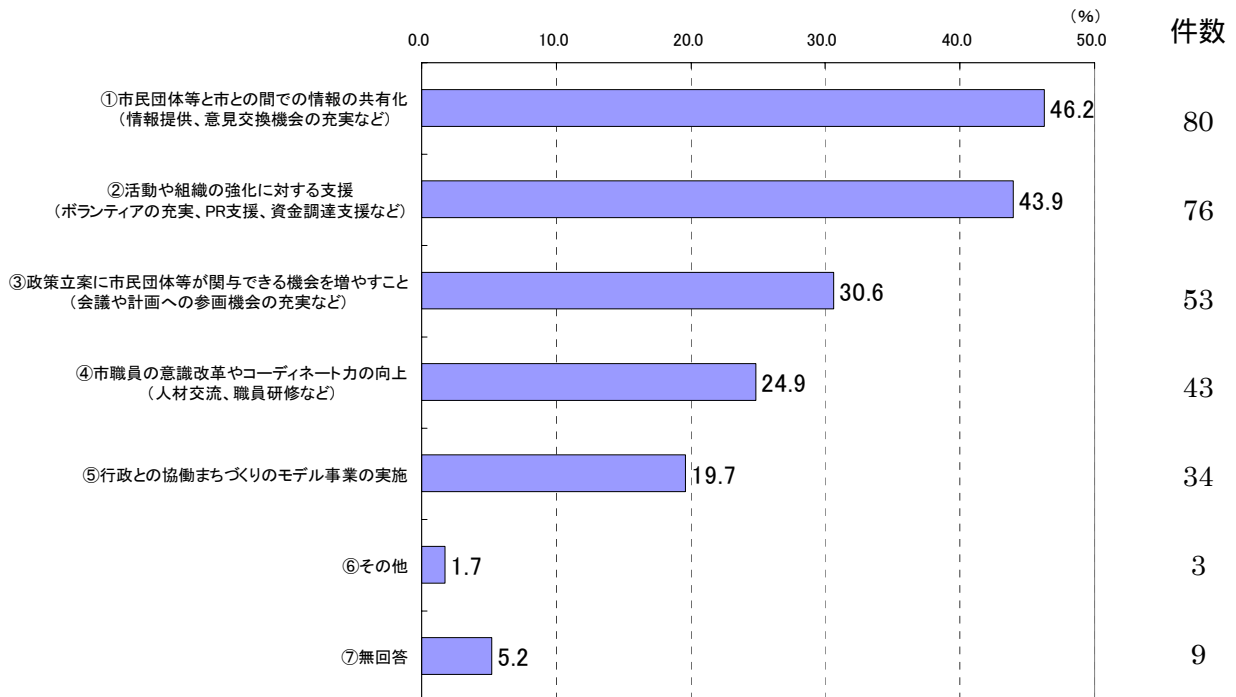
【活動分野別】

項目								基数
保健・医療・ 福祉	9	17	14	0	0	2	0	42
	21.4	40.5	33.3	0.0	0.0	4.8	0.0	
子どもの 健全育成	4	8	2	0	1	1	0	16
	25.0	50.0	12.5	0.0	6.3	6.3	0.0	
文化・芸術・ スポーツ	13	4	7	2	0	0	0	26
	50.0	15.4	26.9	7.7	0.0	0.0	0.0	
まちづくり	8	8	6	1	0	2	1	26
	30.8	30.8	23.1	3.8	0.0	7.7	3.8	
環境	12	7	6	1	0	2	0	28
	42.9	25.0	21.4	3.6	0.0	7.1	0.0	
その他	12	5	6	2	1	2	2	30
	40.0	16.7	20.0	6.7	3.3	6.7	6.7	

問 10 協働のまちづくりを進める上で重要なことは？

協働の街づくりを進める上で重要なことをお尋ねしたところ、「市民団体等と市との間での情報の共有化（情報提供、意見交換機会の充実など）」が46.2%で最も多く、「活動や組織の強化に対する支援（ボランティアの充実、PR支援、資金調達支援など）」43.9%、「政策立案に市民団体等が関与できる機会を増やすこと（会議や計画への参画機会の充実など）」30.6%がみつづいている。

【市全体】



N = 173

(上段、件数：件/下段、割合：%)

【市全体】

項目								基数
全体	80	76	53	43	34	3	9	173
	46.2	43.9	30.6	24.9	19.7	1.7	5.2	

【活動地域別】

項目								基数
見付	9	7	8	1	3	0	2	17
	52.9	41.2	47.1	5.9	17.6	0.0	11.8	
中泉	6	7	6	2	4	0	1	15
	40.0	46.7	40.0	13.3	26.7	0.0	6.7	
今之浦	1	2	1	0	0	0	0	2
	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
岩田・大藤 ・向笠	3	5	1	3	1	0	0	8
	37.5	62.5	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	
西貝・御厨・ 南御厨・田原	4	9	7	2	6	1	0	15
	26.7	60.0	46.7	13.3	40.0	6.7	0.0	
天竜・長野 ・於保	6	2	2	2	1	0	0	8
	75.0	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	
福田	5	4	5	3	4	1	1	13
	38.5	30.8	38.5	23.1	30.8	7.7	7.7	
竜洋	2	8	3	3	3	0	1	13
	15.4	61.5	23.1	23.1	23.1	0.0	7.7	
豊田	14	11	3	8	3	0	0	22
	63.6	50.0	13.6	36.4	13.6	0.0	0.0	
豊岡	10	9	4	10	2	1	1	22
	45.5	40.9	18.2	45.5	9.1	4.5	4.5	
磐田市全域	17	10	11	7	6	0	2	31
	54.8	32.3	35.5	22.6	19.4	0.0	6.5	
その他	3	2	1	2	1	0	1	6
	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	

(上段、件数：件/下段、割合：%)

【活動分野別】

項目								基数
保健・医療・ 福祉	22	19	8	13	8	1	1	42
	52.4	45.2	19.0	31.0	19.0	2.4	2.4	
子どもの 健全育成	9	8	6	3	2	0	0	16
	56.3	50.0	37.5	18.8	12.5	0.0	0.0	
文化・芸術・ スポーツ	11	13	7	5	5	0	2	26
	42.3	50.0	26.9	19.2	19.2	0.0	7.7	
まちづくり	10	9	10	5	6	2	2	26
	38.5	34.6	38.5	19.2	23.1	7.7	7.7	
環境	10	15	10	8	6	0	1	28
	35.7	53.6	35.7	28.6	21.4	0.0	3.6	
その他	17	11	8	8	6	0	3	30
	56.7	36.7	26.7	26.7	20.0	0.0	10.0	

(5) まちづくり全般について（自由記述）

磐田市のまちづくりについて意見や提案（アイデア）について以下のような意見をいただいた。

基本目標 1 環境にやさしいまちづくり

意見
道路や区画整理のために樹木を伐採しているが、その分の植林をしてほしい。便利と引き換えに環境破壊では次世代の子、孫達が苦しむことになる。
環境学習はもったいない精神の強調になりがちで、子ども達に夢や希望を与えるものとなっていない。ザリガニ釣り大会をやめ、夏のトンボ観察会を計画しています（福井所長案）。ベッコウトンボと同様にチョウトンボなどをカウントして記録に残していけば、桶ヶ谷沼のよいデータとなる。磐田環境の日を設定し、自然に関する講演会などを行い、まちづくりに寄与したい。
退職して造園会社で働いています。磐田のNPOボランティアで指導を受け、地域で環境美化運動のリーダーをして20年近くになります。田舎で育った私はこれから市民企業で共同墓地や里山公園を管理・運営したい。
他の市町を研究して、動物行政について、市がもっと充実していくよう期待している。ボランティアの活用を視野に入れてほしい。
大切な資源を大切にするためには、知識と実行と習慣づけだと考えます。分別すると、こんな風に生きて、自分の元に戻ってくるのが具体的に見える方法やシステムを市とともに作れたらと思います。
平成3年、ごみ施設からの「豊田のごみはいらない」に危機感を持った主婦13人でグループを結成しました。ごみ出ししマナーの説明会を自治会ごとにやらせていただく一方で、グループメンバー以外の町民や議員、自治会長等に呼びかけて、ごみ施設では豊田のごみの現状を知り、大阪、名古屋、静岡の環境展では最新の情報を得、リサイクル製品製造工場見学等自分達のごみの行方を追って視察すること40回以上を数えました。市民にごみ行政を理解し協力を求めるならば、まず現状を知って、一人ひとりが何ができるかを考えてもらうことにあると考えて視察研修に一般住民を誘ってきました。しかし合併によりそんな活動もできなくなるとともに、マナーの崩れが目立ってきています。
現状：下水工事の完了している幹線住宅への接続の促進（法的処理）が必要。水道料の増収が計れると思う。

基本目標 2 住んで良かったと思えるまちづくり

意見
磐田市は南北に長いが交通網や交流は圧倒的に東西に限られている。まずは南北の交通網整備を計画的土地利用を考慮して進めるべき。
財政的にも全てに於いて大変な時代に入ったと思います。まず一番基本になることは、財政面が安定してなくては何もできません。市も企業運営の気になってよく考えてください。土地の運営が必要かと思えます。

意 見
豊岡球場前面改修、周辺整備し駐車場は天竜川河川敷
市民生活にも結した事業を最優先に行なってもらいたい。磐田駅前（北口）整備事業
磐田駅前周辺工事の見直しについて。日中の磐田駅前には人影が見えない。市ももっと市内を歩いて見て現地勉強会を。
駅前の商店街の活性化は無料駐車場が必要。郊外の商業施設は無料だから、どうしてもそこへ買物に行ってしまう。
磐田駅北側のビル内にある駐車場への補助金廃止。利用者負担が原則
総合計画にあるように、新駅施設については産業大学を取り込み、豪華な駅でなくてもシンプルであっても周囲の環境をよくし、降りてみたいというような駅をエコ時代に相応しいものに。
磐田市の人と物の流れを活発にし交流を高めるために、第2東名と150号線を結ぶ南北自動車専用道路構想を実現してほしい。10年あるいは30年、50年後の姿を描くべきと思う。
磐田原発の将来の計画について、第1東名、第2東名との関連を今後南北道路の計画を作成する。そして、福田、竜洋、豊田と一体に考え、旧東海道、東名等、立体交差経にして交通便利にする。商工農を充実させる。
みどりと花が多く、各家庭で庭づくりに取り組むまちづくりに取り組みたい。民間の力を結集するようにコンテストをしたり、オープンガーデンに参加する人を増やすように県とのタイアップも必要。「花みどり講座」を数多く開催し、指導者を出したい。
磐田市全体街路樹が少ないと思います。徐々に緑の多い街になってほしい。
ごみの落ちていない美しい街並み、人、歴史、文化を大切にし、緑豊かな田園風景が広がる笑顔溢れる磐田市になるよう協力していきたいと思います。
住環境の整備がもっとも必要。心気持ちは満たされた時から始まる、明日の姿が！一人ひとりの笑顔から・・・輝きだす磐田が！
私は磐田に生まれ育ち嫁いで、磐田以外の市を知らないただの主婦です。あまり欲もないので現状をそのまま受け入れています。きっと他県よりこちらへ来た方には住みづらさも感じている方もいるかもしれませんが。磐田って良い所だと思ってもらえるようなまちづくりをしていきたいですね。
花・みどりに関して言うならば、各道路に面した家の前くらいは自々の責任できれいにすれば街並みも明るく「ウェルカム」の気持ちは来磐した人に届くと思う。
住んで誇りの持てる美しい街並みをつくりたい。
ユーバスを小型のタクシー等の利用変更を望む。補助金の削減から。
ユーバス（西廻り線）をiプラザ、市役所等に乗り入れてほしい。
情報社会の今、自分達の活動に一生懸命やっても市民、行政への認知が少ない。情報のまとめをうまくやれば一緒にやれてなお活発に活動できると思う。磐田は市民が元気です。その元気、やる気、やさしさをうまく市政に役立ててほしいです。地域で守るまちづくりをしてください。そのためだったら協力します。

意見

以前より比較すれば随分住みやすい町、地域になったと思います。公園、霊園、施設等々、しかし、それらの活用方法、活用頻度といったものは今一不十分、生かし切れていないのではないか。例えば、i プラザにしても、中で仕事をしている人とか一部の方は知っていても、多くの人は中味を知らない。各団体ごとに呼んで見学、説明するとか。磐田としてジュピロを前面に出して活性化アピールしてはどうかと思います。

NPO や協働が話題になるもっと以前から、地道にまちづくりに取り組んでいる方々がたくさんいます。このような方々は決してヒーローになることを望んでいませんが、新聞や広報などで紹介していただくと嬉しいもので、社会から正当に評価されたという思いが伝わり、組織や活動の活性化に繋がります。広報に人物シリーズを掲載しては。

このような立派な磐田市総合計画10ヵ年を行っていることを知らない人も多く、広報で知らせても理解は難しい。ある程度枠が決まれば行政より各自治会に内容などの説明か情報提供がほしい(私自身知らないだけか?)

基本目標3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり

意見

保育園、幼稚園などの近くの空いている田畑に農園を作り、子ども達が野菜を育てたり収穫したりして、楽しい食育をしてもらいたい。

「まちづくり=人づくり」。様々な情報にあふれた社会ではあるが、根本的に人の生活になくはならない親子の情、人同士の結びつきが弱いと感じることが多いです。人としての情動が豊かに育てられますよう、教育、子育て、まちの自治について工夫が期待されていると思います。家庭の大切さ、その素晴らしさについて、市民一人ひとりが考え、深め、行動できる「まち」でありたいですね。

家庭の子ども教育、養育にてこ入れすべき。親は躰、教育含め放棄しているのでは。

現在、生命の尊厳、ご先祖様、父母への孝養、忍耐力が著しく低下。更に自分の子ども達に対して虐待する親が何かと多いのか。親の育った環境も大きく関わっている。その親が心の叫びを解決(行政の力必要)。それと、どうして自分はこの世に誕生し自分の生きる力、与えられている物事に感謝。誰でも「無限の能力」を持って、伸ばすことが生きがいとなっていく。言葉の大切さを教え感動していただくこと、一人ではないことを確信させること。

充実した青少年のための施設場所がないのでご検討ください。他市には青少年の家または活動センターとして、炊事また町営宿泊できる場所があります。

芸術文化向上のための総合的な展示施設がほしい。

浜松市にあるような芸術文化振興助成金制度の創設

合併し磐田市となってから、市歌がなくなりました。ぜひ、子どもから大人まで歌える市歌を作ってほしいです。

芸術文化関連ボランティア団体への表彰(賞状というたった1枚の紙が結構活動の糧になります)

意 見
産業に盛衰があるのは当然だが、市民に根付いた豊かな情感は不滅だから、歴史文化を旗印にした方向付けを早期に打ち出してほしい。
私達は子供、若者とのふれあい場的な所として、先日の県のふれあい広場、地区で行われる子供対象の若葉の集い、神明中学校生徒との竹とんぼ作り、先日の東部幼稚園のドンド焼きなど老人会が楽しく少しでも昔のことを伝えていくように努力しています。
磐田駅から加茂川通りまでの区間に文化施設がないのが寂しい。市民が気楽に立ち寄れる幅広い展示ホールなどがあると市民が集まるのではないか。
国ではノーベル賞の受賞やはやぶさの帰還で、2ではだめですが急遽大幅予算がついた。目に見えない文化活動、特に遠江の中心であった磐田をアピールするために駅南の大池から見付までを歴史文化・観光防災ゾーンとして整備する必要がある。
磐田市は国分寺（特に七重の塔を有する）を柱にした文化の香り豊かなまちづくりを考え、推進してほしい。
本当は「サッカーのまち」として認知されるまちづくりを目指す。現在は「プロサッカーチームのあるまち」であり、本当の意味で「サッカーのまち」ではありません。子どもから大人まで気軽にサッカーを楽しめ、ジュビロ磐田を応援、サポートできるまちにしたい。サッカーを文化に。
河川（太田川）沿いにウォーキングコースの設置などをし、市民が自由に使えるように。
スポーツ施設の充実を図る。（拠点化）
共生社会の推進
スポーツ交流、国際交流を含めて行政改革が行われることを望む。

基本目標 4 安全・安心なまちづくり

意 見
地震対策 飲料水以外の食器、顔、眼、身体、水洗トイレ等の用水の確保
磐田市は大きな自然災害から遠ざかっており、特に長年発信されている東海大地震に対する備えの実態は不十分です。インフラの備えを始め、各世帯での取り組みを強化、そして地域の連帯感を高めることが重要です。
今一番感じていることは、地域差、自治会によって災害等の対策に全く温度差を感じます。大きな災害が起きたらどうなるのだろうと危惧しています。地域力が必要です。各自治会防災組織の確立、市としても具体的対策と各自治会との対話や指導を積極的に進めて一人も犠牲者を出さない、一人も見逃さない人命救助等お願いしたい。自治会長の責任が大きいですが、自分の会長時に災害がなかったから良かったという話をよく聞きますが、自治会全体で行動をするようご指導をお願いしたいです。
地震対策 阪神淡路大地震に関して神戸等被災地の住民との情報交換の場が必要（テレビ、新聞、広報の情報では不十分）

意 見
地震対策 防火水槽の耐震性検査、補強、備蓄用の池 e t c .
専門家ではありませんが、非常に難しいと思いますが、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりをお願いします。
磐田国府台線の電柱の地中化と歩道幅の拡張による歩行者の安全性確保及び自転車道の整備（交通安全策）

基本目標5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり

意 見
地域福祉に直接関わる人材は自治会に負うところが多い。地区社会福祉協議会と自治会組織との整合性を的確にしたい。
この地域（磐田及び中東遠）の特性を活かせば病気、介護を半減できるのではないのでしょうか。これを可能にする条件の研究に取り組んでみる価値は大であると考えます。半減したら市民の生活、行政、産業の各分野に多大な効果をもたらすでしょう。
活動分野に関する専門家ではありませんが、中核（30歳～65歳）位の市民は大変忙しい（勤務時間・・・夜勤務、昼勤務、土日も勤務等）。また、中小企業、中小の店、農林漁業者等年間休日が増え、公務員、大企業の方々と比較して、賃金（収入）休日数の格差が広がるばかりで自治会運営やボランティア活動等非常にやりにくい現実がある。
市民が皆、安心して暮らせる（基本生活）がしっかりできることがボランティアに関心を持ってもらえる環境です。安心、安全なまちづくりを進めていただき、ボランティア活動がより盛んになっていくことを望みます。ボランティアさんも高齢になり、親の介護、子どもの就職などの問題を抱え活動できない人もいます。
優先順位はつけにくい
各個人個人がもっと大きな視野でまちづくりを考え、身近な（小さなことでも）ことから始めるようにしたいと思っています。
自治会組織を充実することがきめ細かな福祉ができると思う。（昔の隣組での支え合いの現状版）
情報未達で福祉セーフティネットが適用されない。要介護者、要支援者をなくする仕組みの構築
福祉行政において現況は高齢者に対して厚くなっている要素が見られていますが、子育て支援に関する若い世帯層に対して目を向けるべく転換を図るべきときが来ているのではないのでしょうか。医療、福祉等高齢者の負担を軽減するばかりでなく若い世代と同等にするとかも考え直す必要があると思う。もっと子育て支援等の充実（中学生までは医療無料、地域全体での子育て支援の充実）を考える。
少子化の影響でスカウト人口は減少化しているが、リーダー以下熱い心を持って子どもの指導に当たっている。子どもは冒険好きです。市民の森、里山等で思い切り活動させたいし、キャンプできる場とあわせ計画を立てていただきたい。
子ども達一人ひとりの成長を地域で見守ることができるまちづくりをしてほしいと思います。

意見

健全な大人に成長してもらおう。正しい生活習慣を学び気づき、の教育や啓発を市民運動で展開する。幼・小・中とその母親、祖母から市民全体へ広げる。

高齢化即ち将来のボランティアの宝庫と考えたいが、現状は逆。故に、行政及び自治会、老人回答組織を挙げて十分な時間と余裕を持っている高齢者に積極的に社会参加（主としてボランティア等）するような雰囲気づくりを主導してください。5～10年がかりでも結構。

高齢者が共に助け合い、支え合う制度の確立と支援施策

特別養護老人施設で高齢者に喜んでもらうために、芸能を披露していますが、お金があって立派な施設に入れる老人と、ひっそりと孤独な生活を送っている貧しいご老人がいると思うと切なくなります。こういった人たちが何処かに集まれる場所があり、そこへ出かけて行き励ましてやりたいと思います。

今回求められた対象（J.H.S 静岡支部磐田市のメンバー多い）は県内周辺メンバーも含めてある程度自立した活動をしていて、これをもっと市内で広めたいと思っているが、別に次のことをお願いします。市内の主婦有志で元気な高齢者が更にいつまでも自立して介護のお世話にならなくても暮らしていけるいきいき高齢者応援のため「見付宿いづく処」を5～6年自主運営している。一般の男女高齢者には喜ばれて気軽に利用していただいているので市にも認知していただきたいと昨年長寿推進課にお話しました。補助金を出してほしいと思われたのか、まだ福田にも豊岡にもないこと、見付だけというわけにはいかないと見放された。他地区にも制度にもなくても市独自のことで理解してほしい。このことは年末市長さんに直接お話して大変ご理解いただいておりますが、ただもしご理解いただけたら市独自の事業としてお考えいただきたい。今の高齢者はすごい生活の知恵と技を持っている。活かしたいだけ。

磐田を元気にする鍵は、高齢者の元気を続けてもらう。高齢者の小集団活動元気かとその継続の啓発、とセルフチェックによる自分の今を知る。定年退職者の活躍の場を自発的に作り出す。

高齢化対策・・・核家族化に伴う高齢独居者、高齢者世帯が増加して、磐田市においてもその対策が重要な問題となると思います。地域で取り組むもの、行政で取り組むもの等具体的対策を今から先を見て取り組んでほしい。地域の取り組み（見守り、声かけ、隣人同士の助け合い）

高齢化対策・・・核家族化に伴う高齢独居者、高齢者世帯が増加して、磐田市においてもその対策が重要な問題となると思います。地域で取り組むもの、行政で取り組むもの等具体的対策を今から先を見て取り組んでほしい。行政の取り組み（包括支援センターの拡充）

文化活動、福祉活動面など磐田市として特色は何かと問われたときに自信を持って言える物が必要だと思います。高齢者福祉に市独自の取り組みを考えていきたいと思っています。

合併後、各種団体等少ない予算での活動には無理がある。年々、特に身障者に対するいろいろな行事が削減されているような気がする。

文化活動、福祉活動面など磐田市として特色は何かと問われたときに自信を持って言える物が必要だと思います。障害者福祉に市独自の取り組みを考えていきたいと思っています。

ゆめりあ近隣の整備、施設充実（健康増進のため）

意見

やろうと決めたことでも間違いに気づいたら止める勇気を持ってください。子宮頸がんワクチンは効果や副作用についての検証がまだ十分でない現在、人体実験のようなことを行ってよいのでしょうか。しかも成長途中の子ども達に対する接種となるので親としても危惧しています。子宮頸がんの予防には検診が最も重要だと聞きました。任意接種となるので、接種対象年齢の子どもと保護者に対して「ワクチンを接種すればガンにならない」というのは間違った情報であることをしっかり伝えてください。もし接種する人が少なくて予算が余ったら、検診の補助にまわしてもらえたらうれしいです。私達は体内に異物を入れず、安全に子宮頸がんを予防する方法を選びたいです。副作用の報告は81例あります。

未病対策（未病のうちに自主的に生活習慣を改善し治す。代替医療（安全有効なものを選択）を積極的に活用。未病治療センターの開設とネットワーク化（市南部救急センターに未病治療センターを併設する。）

専門家ではありませんが、市内の医療体制について。市立病院は勿論、現在市南部には医療設備がありません。今後の課題として考えていただき、住みやすく安心できるまちづくりに共に頑張っていきたいと思います。

磐田南部地区の医療機関の開設を早急に望む。

基本目標 6 交流と活力のあるまちづくり

意見

福田漁港の整備がされつつありますが、漁船だけの利用でなく、もっと広域名活用が必要かと思います。（物資の積出港）

豊岡村（旧）が置き去りにされている。磐田、竜洋、福田、豊岡、豊田と5地区が特色あるものを生かしていく必要がある。

と同時に雇用問題について産業全般又は問う地域の特色ある産業振興、育成も必要であると思います。

市政には地域の活性化には税収が大切だから、まず産業の発展、企業の誘致等を期待する。（ラポートの誘致は評価する。）

厳しい財政事業の中、精選した事業への取り組みが感じられます。この世の中にあって新しい事業への取り組みは難しいことと思いますので、現在の事業の充実を計っていったらと思います。財政の困窮はとかく文化面が疎かになっていきますので豊かさにかける人づくり、生きる環境が貧しくならないか危惧いたします。

磐田市の良いところをどんどん伸ばす。（人もまちも）

昨年12月に磐田市文化振興センター主催の市民ピアノコンサートが同会館で行われましたが、大変好評であったと伺っております。これも初めての企画であり是非毎年開催してほしいと思います。見付には霊犬悉平太郎伝説があります。現状版悉平太郎コンテストを開催するのも面白い。世に愛犬家が多い。何か磐田市として特徴あるイベントを定着させることが肝要でしょうか。

意見

磐田市の観光・交流の振興、拡大、PR、啓発を上手にやって全国区（かつてのジュビロ）になれるように史跡・名勝地等を散歩コース（5～10kmとか）、車コース（2～5時間とか）、また、それぞれを各ジャンル別や地域別とか方法はたくさんあり。少なくともマスコミ扱いされるようなイベントも工夫されたい（最近、隣の掛川市、森町はNHKテレビで放映されている）

全国に情報発信できるような市民として誇りが持てるようなイベントを行ってほしい。（例：袋井市の花火等）

桶ヶ沼、つるが池、数々の古墳等のPR

もっと観光施設の整備に目を向け取り組んで、交流人口を増やして進んでください。

磐田市は、ジュビロ磐田のサッカーの街として知られておりますが、他にこれといった物が今のところ余りないと感じております。ヤマハ他産業振興も非常に重要ですが、今一番求められているのは観光振興だと思います。日本国を見ても、今政府が力を入れているのは観光立国で、外国人の観光客を年度ごとに増やす計画を立てて着々と実行策を打ち出しています。近隣地域を見ても、浜松市、袋井市、掛川市等は行政が観光に力を入れて、観光協会、観光案内所にやる気のある人材を登用して力を入れているのが実際に訪問してみるとよくわかります。磐田市も行政の観光担当部署の充実はもとより、観光協会の活性化や観光案内所のやる気のある運営をまず推進してほしい。

かつて、東海道400年祭というイベントがきっかけで、地域づくり活動が活発になった時代がありました。隣の浜松市では浜松市政100周年記念事業として100夢プロジェクトを市民から募集し、100のうち50点が一次審査で確定しました。1事業100万円まで市が援助して市民の夢を叶えようと動き出しました。磐田市でも10周年に向けて企画の企画を募集してみたいかがでしょうか。

磐田市は自然環境、産業、交通網、スポーツ、文化遺産等に恵まれているが、磐田駅前の寂しさ。市内の要所に駐車スペースがないため、商店街、文化遺産も生きてこない。駐車場を含めた観光資源の有効活用による都市づくりを考えたいかがでしょうか。

南北ラインの経済的訴求と合わせて人的交流計画もつくること。その活性化が真のまちづくりのヒントを与えるはず。

子どもと高齢者が安心して楽しみ学び、体験できる場とする。この間には万葉の大池、大楠、商店街、農高のバラ園、天平の森、府八幡宮、行政の中心市役所、遠江のシンボル国分寺跡地、東海道姫街道、旧見付学校、祇園祭り、裸祭り、宿場・・・何でもある。歩いて見る博物館通りとなるために中心となる国分寺跡地に休憩所をつくって人が集まれる拠点をつくってもらいたい。

高齢者等を活用したワークシェアリングの推進

高齢者は「ワープロ」ができない。従って役員はできませんということをよく聞きます。どこかへ行ったらできますか。

基本目標 7 計画推進のために

意見
一つの団体だけの活動では限りがあり、本当に必要な内容か評価が難しいところがあります。様々な分野の団体がネットワークを作り、お互いに協力して活動していけるシステム作りが出来ればと思います。ボランティア団体の中には行政に依存する傾向があるように思います。しかし、自分達の活動は自分達が責任を持って運営する。そして行政は相談役になっていただければと思います。
これからの時代は磐田市においても高齢化が進み、住民の生活の活気がなくなるのではと心配です。だから、今からいろんな活動を起こし、若い世代に伝え、一緒に活動していくことが住みよい明るいまちづくりの一つと考えます。
潜在するボランティア希望者が参加しやすい体制を整えてください。
市内の環境、交通、その他諸々の原状等の情報提供と市民団体でできることなど話し合える場の設定が必要と考えるが。
問 9 について、現団体の現状からすると、現状維持が手一杯です。要請があれば喜んで参画するということです。
私たちが目指す地域福祉活動は、少子高齢社会に対応した地域住民が安心して暮らすことができる社会であり、これは地域住民やボランティアに任せておけば良いというものではなく、まさに行政が正面に出て、地域住民、地区社協などの団体と協働してこそ可能となるものであると考える。今の行政の姿勢にはこの本来の協働の姿勢が全く見えないのは残念である。
相談ですが、まるかわぎょうざ西北側の竹藪伐採後の土地の整地。例えば、竹の根などを除去する際の重機などレンタルする上での補助金は出してくれるのでしょうか。個人の土地ではありますが、活動の一環として考えれば可能なことでしょうか。
市民一人ひとりが“まちづくり”のために何ができるかを見つけ出す機会(場)を多くすることが必要です。全の方向へはたゆまぬ努力を注いでいくことが大切です。力を抜けば元に戻りますから。
一人ひとりが市の問題点を発見し行動に移せるよう、市民の意識改革が必要。
地域に関する案件が発生した場合、まず地域住民に説明し意見を集約して検討すること。住民と蚊帳の外におかず中央集権的手法で決めないでいただきたい。
行政と地域との一体化。お互いのPR活動・情報の伝達をスムーズにすることが、これからより必要と思う。
最終的には市民団体だけ、あるいは行政だけではスムーズに行かない部分があるので、両者がいかに一つの問題に対して共有意識を持ち協働した形で一つのことを考えていくかに尽きると思う。
県中、西部地域で政令市を除くと人口 18 万弱の最大の市です。その意識を市民、行政、事業者も持つべきで、近隣市町から磐田市政の動向に注目されているという“今”をきちんと捉えてください。先駆的にやっていくべき事柄が多くあるはず。市民の現場にどんどん出てきてほしいのです。課題を共有し共に解決の方向に向かいたいのです。

意見

横浜市では、500 人の市民がまちづくりについて対話を交わしたイベントが行われました。磐田でも年齢を問わず、意見を交わすイベントを催してみたいかがでしょうか。磐田市に望むこと、夢が自由に語られる場づくりが今求められているのではないかと思います。

アイデア、改善等は民間企業の方がはるかに鍛えられていると思う。

まちづくりに必要な人材の認定制度を充実する。まちづくりに関わるきっかけづくりと世間の認知度を高める。多種多様な人材発掘を目指す。

磐田に住んで 20 年近くになりますが、多くの方に知られていない素晴らしい人が多いことに驚かされます。他地域で活躍なさっている方も多く、地元で活躍できるといいのにと感じることも少なくありません。なぜ磐田ではないのか、なぜ磐田で団体が育たないのか、直視してみるのもよいかもかもしれません。

民間企業からもっと指導者を募れないか（60 歳代）、OB

「市民一人一ボランティア活動」を推進する。日本人の今までの生活習慣の中にボランティア活動や NPO 活動に余暇を活用することはなかったので、気持ちはあっても一歩が出ない方がいる。様々な事業や団体施設等で呼びかけ参加者を募り、結果を公表し継続への力としていく。

同じ活動をしているグループとの交流会、合同活動会を実施してみたい。

小団体にも声をかけていただきありがとうございます。磐田ならではの地域性や人柄を生かしたまちづくりができなすよう、ぜひとも各団体での意見も公の場に広めていただき、誰もが住みやすい温かな人間関係の市によりなっていくことを望んで我々の活動に努力いたします。

私達の団体は、磐田市のまちづくりという点から考えるとやや目的が異なるのですが、ボランティア活動をしている青年層からの意見として書かせていただきます。磐田市に愛着を持ち、自分達にも何かできるという思いを持てる若者が増えたこと、自分が楽しみながら（特技や趣味を生かしながら）誰かのためになることができたら幸せと思えること、そんな温かい町であってほしいと願います。（どんなにいいことでも、楽しい、好き、でないとは結局続かないので）

磐田市は NPO 団体に対し、あまり助成金等は出さないほうが良いと考えます。その法人の事業により、自ら運営資金を捻出していく方法が良いのではないかと思います。あくまで磐田市はその法人の事業がスムーズに行なえるよう、活動の場所やアイデア等に協力していくのが良いのではないかと思います。とにかく、ボランティアや NPO 法人への資金の助成はできるだけ出さない。自主運営 = アイデア、努力を市は行う。市はあらゆる面でバックアップすること（資金助成除く）

日常生活の足の確保について、バスやタクシーではなく、NPO やボランティアによる助け合い移動の充実が必要と考えます。ですが、交通事故の補償問題や、道路運営法の問題など、大きな問題を抱えるため、地域ごとに合意できる交通システムが必要と考えます。（参考まで日本海の活動方針を添付）

いろんな活動団体はあると思うが、何を求めているのか見えにくい部分がある。何をにおいてもまずグループの目標をどか～とビジョンを大きく表現すべきだと思う。

意 見
自治会が主となる組織にする。その先にボランティアがある。天竜川河川敷の遊歩道それ程必要か(市に言っても仕方ないか)
当たり前なのが公正公平に取り組める地域づくり
他地区の交流が少ないと思うので、交流する場を増やす。
高齢者や子ども達が気軽に集える場所(例えば宅老所)があれば楽しい町になると思う。
豊岡地区全体を里山として地域の力を引き出す方法を考えたらと思う。
地域の拠点施設として豊岡研修センターの改修を望みます。
磐田市の公共の建物で利用されていないところが多い。市民団体として活動するのに自分達で建物を借りるのにも資金がかなりかかる。少しでも安い資金で借りられるような市の建物はないか。また、一定の市民団体が利用しているケースもあるが、どのようにして選ばれているのか、不公平さを感じる。効率のよい利用の仕方、活用の仕方に期待をしている。
自治会長、自主防災会長、福祉委員、保健委員、交通安全推進委員等々、多くの役員があるが、役員の固定化、高齢化が進んでいる。また、様々な役を兼務していたり、1年ずつ役員が交代していくため、なかなか活動が深まらない。行政組織から自治会等に依頼している役員の活動を整理して一人当たりの活動分野をシンプルにしてほしい。
問 8-9 その他に関して、 市民活動支援のための補償制度 市民活動支援のための基金の創設 税に関して・・・市民活動支援のための市税の導入(0%条例)納税の優遇措置など モデル事業的なものの事例紹介(協働に関してまち美化や提案事業以外で) 職員意識の格差(勉強不足) 向上と共有化 縦割り行政の弊害(課を超えては仕事ができないという意識) 職員の地域活動への奨励
厳しい財政状況であることはわかるが、地域からの要望事項等を全て先送りではなく、重要性、緊急性をよく検討し事業を実施してほしい。税収不足は一過性のものもある。
新しい言葉を使って新しい仕事を作れば前に進んでいると思っは大間違いである。現状の業務の見直しを全て行っていけば無駄がなくなり理解も早い。しいては市民サービス向上につながる。このアンケート、協働のまちづくり欄に記載したとおり、現状分析から行うべきである。
大変難しい質問が多いです。市政を運営している人の仕事ではないですか。
市政に最近がっかりすることばかりです。反対に、どんなまちを市が目指しているか、伺いたいです。
ここで聞かれている意見が確かに反映される仕組みを持った磐田市とは？
磐田市の活気あるまちづくりには、市民がいつでもどこでもその気になった時に活動できる環境が必要です。市長は「職員のよいところを褒め、育ててほしい」とおっしゃいます。私も大賛成です。ですが、職員がその気にならなければ連携は難しいです。成果主義の考えに基づいて動いているだけでは、市民が自ら楽しみながら意欲的に活動を継続することに魅力を感じないでしょう。
行政が全て受身である。「理由は金がない」という返事。これでは市はよくなりません。

意見

市職員の対応、仕事の様子が以前と比較すると大変よくなったことが一番良いことだと思います。より一層の向上をお願いいたします。

磐田市職員の市民に対する姿勢、心構えは以前に比べたら随分と心温かく真摯な態度で取り組まれていると思います。自信を持って元気に行政にお取り組みください。

行政職員の中に、まちづくり、NPOなどの専門家をつくり、コーディネートをうまくできる体制をつくってほしい。

市職員の質の向上はまだ端についたところではないかと思う。より一層の研鑽を望みます。

職員の活性化促進と人事考課制度の徹底（同一部署でマンネリ化している。人事異動すべき、特に公民館）

財政が厳しいと思うが、資金援助は切らないでほしい。

清掃活動のために資材の援助を受けており、ありがとうございます。専門家というよりグループのリーダーとしては、市役所の職員の方々が率先してボランティア活動を立ち上げ実施されることを期待します。現在市職員の何%の方々が地域活動に無償で参加されているか知りたいところです。

これからは待っているのではなく、積極的に当局側からの依頼活動が必要。地域性格もありますが、頼まれて行動して良さを知る場合が多い。

その他

意見

何かを計画し決定していく過程では、当事者を参画させ、意見を反映していくことが大事だと考えます。当事者の使い勝手の悪いものは結局無駄なものになります。

4 参考資料

アンケート調査票

1 貴団体のことについて

問1 貴団体が主に活動されている地域はどこですか？

< 1つに 印 >

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 見付地区 | 2. 中泉地区 |
| 3. 今之浦地区 | 4. 岩田・大藤・向笠地区 |
| 5. 西貝・御厨・南御厨・田原地区 | 6. 天竜・長野・於保地区 |
| 7. 福田地区 | 8. 竜洋地区 |
| 9. 豊田地区 | 10. 豊岡地区 |
| 10. 磐田市全域 | 12. その他 () |

問2 貴団体の主な活動分野は何ですか？

< 1つに 印 >

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 保健・医療・福祉 | 2. 子どもの健全育成 |
| 3. 文化・芸術・スポーツ | 4. まちづくり |
| 5. 環境 | 6. その他 () |

2 地域（磐田市）の特性について

問3 みなさんが日頃活動されている地域の強み（良い点、活かすべき点）は何だと思えますか？
磐田市全域で活動されている場合は、磐田市の強みをお答えください。 < 3つまで 印 >

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1. 地域の連帯感・協力等 | 2. 地域活動（コミュニケーション、環境美化、防犯・防災） |
| 3. 地域を支える人材 | 4. 習慣・気質 |
| 5. 自然環境・地形 | 6. 産業 |
| 7. 歴史・文化 | 8. 交通・立地条件など生活利便性 |
| 9. 景観 | 10. 公民館などの施設の充実 |
| 11. 人口・世帯数の増加 | 12. その他 () |

問4 みなさんが日頃活動されている地域の弱み（悪い点、改善が必要な点）は何だと思えますか？
磐田市全域で活動されている場合は、磐田市の弱みをお答えください。 < 3つまで 印 >

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. アパート居住者、外国人との交流等 | 2. 地域活動への参加・協力意識 |
| 3. 優秀な人材・リーダーの不在 | 4. 風習、気質 |
| 5. 環境問題 | 6. 産業（農業・商業等）振興 |
| 7. 文化振興（伝統の維持等） | 8. 生活環境（道路、交通、上下水道等） |
| 9. 防災対策 | 10. 少子高齢化、人口減少 |
| 11. 急激な人口増加（新規転入者の増加など） | 12. その他 () |

3 磐田市の今後の取り組みについて

問5 市では限られた予算の中で次のような取り組みを行っています。
今後の取り組みとして**特に重要であると思うものはどれですか？**
重要だと思うものを**5つまで選んで**、その番号（1～41の番号）を記入してください。

--	--	--	--	--

問6 前問で選択した5つのうち、限られた予算において、**特に優先すべきものはどれですか？**
優先すべきだと思うものを**3つまで選んで**、その番号を記入してください。

--	--	--	--	--

番号	項目	目 標・主な取り組み	
		目 標	主 な 取 り 組 み
1	環境保全の推進	目 標	環境にやさしいまちづくりを実現するため、健康で快適な環境づくりをすすめます。
		主 な 取 り 組 み	桶ヶ谷沼などの自然環境の保全 公害の発生を防ぐための水質調査や事業所への指導など
2	省資源・エネルギー対策の充実	目 標	新エネルギーの活用、家庭や企業での省資源・省エネルギー化をすすめます。
		主 な 取 り 組 み	太陽光発電システムなどの設置の支援 市民や事業者への地球温暖化防止対策推進の支援
3	環境教育の推進	目 標	学校・地域・家庭での環境教育・学習を充実し、環境にやさしいまちづくりをすすめる人材を育てます。
		主 な 取 り 組 み	自然観察教室などの開催 小学生への環境教育
4	生活環境の向上	目 標	住みよい住環境を維持・向上していくため、環境美化などをすすめます。
		主 な 取 り 組 み	河川海岸清掃美化、ごみの不法投棄対策 市営霊園（墓地）の整備・管理
5	循環型社会の推進	目 標	リサイクルなどをすすめ、ごみの減量化をすすめます。
		主 な 取 り 組 み	ごみの収集運搬 リサイクルや再資源化などの推進
6	上下水道の整備	目 標	安全で安心な水の供給や快適な生活環境を守るため、上下水道の整備をすすめます。
		主 な 取 り 組 み	安全な水の安定供給、古くなった水道管の入れ替え 下水道の整備による公共用水域（河川、湖沼、用水路など）の水質保全
7	計画的な土地利用の推進	目 標	自然と調和した機能的なまちをつくるため、計画的な土地利用をすすめます。
		主 な 取 り 組 み	土地利用に関する計画づくり 地形や土地利用状況、交通の状況の調査
8	市街地整備の推進	目 標	土地の有効利用を図り、安全・安心・快適な都市環境をつくります。
		主 な 取 り 組 み	土地区画整理事業 磐田駅北口広場の整備
9	道路網の整備	目 標	人と環境にやさしい道路をつくり、管理していきます。
		主 な 取 り 組 み	幹線道路や生活道路の整備 協働 ¹ による道路管理（まち美化パートナー制度 ² ）の推進

¹協働 同じ目的に向けて、市民（事業者含む）と行政がともに力を合わせて活動すること

²まち美化パートナー制度 市民等のボランティアによる、市道、河川、公園、緑地などの清掃や美化活動等を支援する制度

番号	項目	目標・主な取り組み	
10	緑豊かなまちづくり	目標	市民の憩いの場となる公園や緑地を整備していきます。
		主な取り組み	公園や緑地の整備と維持管理 協働による公園の整備や管理の推進（ワークショップやまち美化パートナー）
11	住生活の向上	目標	安心して快適に住めるように、良好な住環境づくりをすすめます。
		主な取り組み	市営住宅の管理や建て替え 宅地開発や建築などの指導
12	美しい街並みづくり	目標	住んで誇りの持てる美しい街並みをつくるため、地域の特性を活かした景観づくりをすすめます。
		主な取り組み	景観づくりのための計画やモデルの作成 屋外広告物の規制や指導
13	公共交通機関の利用促進	目標	市民の日常生活を支える移動手段を確保するため、公共交通の利便性を高めます。
		主な取り組み	自主運行バス事業 JR新駅設置に向けた取り組み
14	地域情報化の推進	目標	情報化社会に対応した地域の情報化をすすめるため、情報通信技術を活用していきます。
		主な取り組み	メールによる行政情報の配信 市民及び小中学生へのパソコン教育
15	子どもの教育の充実	目標	ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな子どもを育てるため、生きる力・確かな学力の育成と信頼される学校（園）づくりを目指します。
		主な取り組み	少人数学級の推進と教職員の資質向上のための研修 施設の耐震化や校庭の芝生化

少人数学級 児童生徒数35人以下で1学級を編成すること

16	健全な青少年育成	目標	非行に走らぬ健全な青少年を育成するため、家庭教育の充実、地域での青少年育成活動の充実をすすめます。
		主な取り組み	家庭教育に関する講座や講演会 少年補導センターの運営
17	学習機会の充実	目標	多様なニーズに対応した学習プログラムの提供や読書活動の推進、生涯学習施設の充実を図ります。
		主な取り組み	公民館講座や出前講座（市職員が市民の皆さんに事業・制度を説明）の開催 図書館や公民館を整備・管理運営
18	文化の振興と歴史遺産の整備・活用	目標	地域の伝統文化の継承や歴史的遺産の保存・整備・活用とともに、市民による文化芸術活動を促進します。
		主な取り組み	文化芸術鑑賞会（展示会やコンサートなど）の開催 遠江国分寺跡など文化財の保全・整備・活用
19	スポーツの振興	目標	市民の健康増進・体力向上のため、スポーツのまちづくりをすすめます。
		主な取り組み	スポーツ施設の整備・管理運営 スポーツ大会やスポーツ教室などの開催
20	多文化共生と国際交流の推進	目標	日本人も外国人も地域社会の一員として、ともにまちづくりに参画する社会を目指します。
		主な取り組み	外国人市民への情報提供や相談窓口の設置、多文化交流センターの運営 市民の国際交流活動の支援
21	男女共同参画の推進	目標	男女が性別にかかわらず尊重され、あらゆる分野でともに参画できる社会を目指します。
		主な取り組み	男女共同参画に関する講座や講演会の開催 男女共同参画センター「ともりあ」の運営
22	地域防災対策・体制の強化	目標	地震などの被害を最小限にするため、防災対策や支援体制を強化します。
		主な取り組み	建築物などの耐震化に対する助成 自主防災組織の支援
23	地域防犯体制の強化	目標	市民の安全・安心のため、地域の防犯体制を強化します。
		主な取り組み	地域の防犯活動団体の支援 防犯灯の設置（支援）

番号	項目	目標・主な取り組み	
24	交通安全対策の充実	目標	交通事故をなくすため、安全なまちづくりをすすめます。
		主な取り組み	カーブミラーやガードレールの設置 交通安全教室の開催
25	消防・救急体制の充実	目標	消防車・救急車の効率的・効果的な運用を図り、安全・安心なまちづくりをすすめます。
		主な取り組み	消防施設（消防署や消防車など）の整備 普通救命講習会の開催
26	治山 ¹ ・治水 ² 対策の充実	目標	大雨などによる被害を防止するため、治山・治水対策をすすめます。
		主な取り組み	ポンプ場の整備 松くい虫の防除

¹治山 災害を防ぐために、植林・造林などをして山を整備すること

²治水 水害を防ぐために、調整池や護岸整備など河川を整備し管理すること

27	消費生活対策の充実	目標	安心できる消費生活のため、自立した消費者の育成・支援をすすめています。
		主な取り組み	消費生活相談の実施 振り込め詐欺などに関する情報提供や学習会などの開催
28	地域福祉システムの充実	目標	誰もが地域で支え合いながら安心して暮らすことができるように、支え合う地域づくりをすすめています。
		主な取り組み	福祉ボランティア活動の支援 地区社会福祉協議会 の支援

地区社会福祉協議会（地区社協） 市民の皆さんが社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための組織

29	子育て環境の整備	目標	安心して子どもを産み育てることができる社会を目指し、子育てしやすい環境を整備します。
		主な取り組み	子育て支援センターの運営、子育て相談員の派遣 保育サービスの充実
30	高齢者福祉の推進	目標	高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるように、高齢者福祉をすすめます。
		主な取り組み	高齢者在宅福祉サービス（在宅介護手当、タクシー券、紙おむつ券助成等）の実施 高齢者相談・支援体制（地域包括支援センター など）の充実

地域包括支援センター 高齢者およびその家族からの相談の受付や、高齢者の見守り、心身の状態にあわせた支援を行う高齢者の総合的な相談・サービスの拠点

31	障害者福祉の推進	目標	障害のある方が地域社会の一員として暮らせるように、障害者福祉をすすめます。
		主な取り組み	障害のある方の自立の支援 障害者福祉サービスの実施
32	健康づくりの推進	目標	各世代の市民の健康を守るため、保健予防活動の充実や食育 をすすめます。
		主な取り組み	健康診査や健康教室の開催 食育に関する情報提供や食育活動の支援

食育 「食」に関する知識を身につけ、健全な食生活を実践できる人間を育てること

33	地域医療体制の充実	目標	安心して地域の医療サービスが受けられるように、地域連携の医療体制を築きます。
		主な取り組み	市立病院の機能強化 夜間休日等の救急医療体制の強化
34	農林水産業の振興	目標	農林水産業の生産力向上や安定した経営基盤をつくるため、農林水産業の振興を図ります。
		主な取り組み	担い手や後継者の育成支援や生産基盤の整備 地産地消 ¹ ・地産外商 ² の推進

¹地産地消 市内で生産された農産物などを市内で消費すること

²地産外商 市内で生産された農産物などを市外に売り出してお金を稼ぐこと

35	商業・サービス業の振興	目標	地域の特性を活かした魅力ある商業地をつくるとともに、新たな商業拠点を整備していきます。
		主な取り組み	空き店舗対策 商工会議所・商工会への支援

番号	項目	目標・主な取り組み	
36	工業・新産業の育成・振興	目標	競争力の高い産業を育てるため、産学官民の連携による新産業の創出や産業拠点の整備、人材の育成をすすめます。
		主な取り組み	中小企業の支援 企業誘致

産学官民 産業（企業）、学校（大学など）、官公庁（市役所など）、市民等（市民や市民団体、NPOなど）

37	観光・交流の振興	目標	観光・交流人口を増やし、地域を活性化するため、観光の拠点・仕組みづくりをすすめます。
		主な取り組み	観光施設の整備 観光の情報を発信

38	雇用環境の充実	目標	働く意欲のある人が生き生きと働くことができるよう、雇用環境の充実を図ります。
		主な取り組み	求職者への適切な情報提供 自己啓発などの支援

39	市民の力を高める	目標	市民が幅広い分野で活躍できるように、まちづくりに対する参加意識を高めるとともに、活動を支援します。
		主な取り組み	まちづくりサポーター制度の実施 行政情報の提供（広報いわたの発行やホームページの運用）

まちづくりサポーター制度 「まちづくり活動してみたい」、「知識や技能を活かしてみたい」という人にサポーターとして登録していただき、その力を借りて社会参加活動を充実させたい団体等とサポーターとを事務局が橋渡しすることにより、まちづくりやボランティア活動をより盛んにしていこうという制度

40	地域の力を高める	目標	コミュニティ組織の充実、市民活動団体・リーダーを育てることにより、地域力を高めます。
		主な取り組み	自治会・自治会連合会の支援 市民活動団体の育成

41	行政の力を高める	目標	限られた財源で、より良いサービスを提供するために、行財政改革を推進し、行政力を高めます。
		主な取り組み	行財政改革の推進 職員の資質向上

行財政改革 単なる経費節減・増収を図るだけではなく、市の事業の効率性と質を向上させ市民へのサービス効果を高めること

4 協働のまちづくりについて

問7 これからのまちづくりは、行政だけでなく、多様な担い手の協力が必要です。既に市内でも地域の問題解決や住みやすい地域にするための住民活動が動き出しています。そこで、貴団体で地域のために取り組んでいる具体的な事例や工夫していることがありましたら、ご紹介ください。また、今後取り組みたいと思っっていることもお教えてください。

<簡条書きでご記入ください>

現在、取り組んでいること

.....

.....

.....

.....

今後、取り組みたいこと

.....

.....

.....

.....

問8 市民活動（ボランティア活動・NPO活動）をする上で問題点などがありますか？

< 3つまで 印 >

1. 組織を支える優秀な人材が不足している
2. イベント等を手伝ってくれるボランティアが少ない
3. 団体を維持していただくだけの活動資金が不足している
4. 市民や地域、行政からの活動の要請が少ない
5. 市民へのPR不足、活動が浸透していない、理解されていない
6. 集会や研修活動等を行うための場所の確保が難しい
7. 市民団体やNPO間での情報交換や活動の連携・調整を図ることができていない
8. 磐田市市民活動センターが活かされていない、または、うまく機能していない
9. その他（)

問9 貴団体では、今後、市民・行政の協働のまちづくりへの関わり方についてどうお考えですか？

< 1つに 印 >

1. 積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい
2. 求められれば参画する
3. 興味がある内容なら参画したい
4. 協働の必要性を感じていない
5. わからない
6. その他（)

問10 協働のまちづくりを進める上でどのようなことが重要だと思いますか？

< 2つまで 印 >

1. 市民団体等と市との間での情報の共有化（情報提供、意見交換機会の充実など）
2. 政策立案に市民団体等が関与できる機会を増やすこと（会議や計画への参画機会の充実など）
3. 活動や組織の強化に対する支援（ボランティアの充実、PR支援、資金調達支援など）
4. 行政との協働まちづくりのモデル事業の実施
5. 市職員の意識改革やコーディネート力の向上（人材交流、職員研修など）
6. その他（)

5 まちづくり全般について

問11 これからの磐田市のまちづくりのためのご意見やご提案(アイデア)、夢など、どんなことでも結構ですので、活動分野に関する専門家としてのご意見をお聞かせください。

アンケート調査にご協力ありがとうございました。

1月31日(月)までに、返信用封筒に入れ、お近くのポストにご投函ください。

平成 22 年度 磐田市市民団体意識調査
報告書

平成 23 年 3 月

発行：磐田市 企画財政部 政策企画課
磐田市国府台 3 番地 1 〒438-8650
TEL：0538-37-4805 FAX：0538-36-8954
E-mail kikaku@city.iwata.lg.jp